



今週のPOINT

国内株式市場

今週はイベント盛り沢山だが、29日に集中するハイパースケーラーの決算が最注目

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

モスフードサービス【プライム 8153】ほか

テーマ別分析

国内旅行需要に追い風、円安環境下でインバウンドも堅調

話題のレポート

増益見通しを発表した2月期本決算企業

スクリーニング分析

連続増配を続けている割安銘柄には買い安心感

大型連休控えてダウンサイドリスクに警戒

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3	
			新興市場	4	
		米国株式市場		5	
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6	
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6	
2	マーケットを読む	今週のポイント		7	
		日経平均株価		8	
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	日本たばこ産業〈2914〉プライム	9	
			大王製紙〈3880〉プライム	10	
			カヤック〈3904〉グロース	11	
			小野薬品工業〈4528〉プライム	12	
			JRC〈6224〉グロース	13	
			キッツ〈6498〉プライム	14	
			あいちフィナンシャルグループ〈7389〉プライム	15	
			モスフードサービス〈8153〉プライム	16	
			読者の気になる銘柄	神戸物産〈3038〉プライム	17
				野村総合研究所〈4307〉プライム	17
			テクニカル妙味銘柄	キーエンス〈6861〉プライム	18
		三菱瓦斯化学〈4182〉プライム	18		
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19	
		スクリーニング分析		20	
		先週の話題レポート		21	
		信用需給動向		22	
5	連載コラム			23	

今週はイベント盛り沢山だが、29日に集中するハイパースケーラーの決算が最注目

■イラン情勢緩和期待継続、日経平均は一時60000円大台乗せ

先週の日経平均は前週末比 1240.28 円高 (+2.1%) の 59716.18 円で取引を終了した。イラン外相が停戦期間中のホルムズ海峡封鎖解除を発表、原油価格の下落を好感して週初から買いが優勢の展開となった。その後、イランがホルムズ海峡を再び封鎖するなど、緊張感の高まりによって和平合意の期待が後退する場面も見られたが、パンス米副大統領らがパキスタンに向かう計画をトランプ大統領が確認するなど、再協議への期待は大きく崩れなかった。

イラン停戦延長が好感されたほか、米国主要企業の好決算発表も加わり、週央にかけて日経平均株価は上昇、23日には一時60000円の大台に乗せる形となった。ただ、その直後からは短期的な達成感に伴う利益確定売りが膨らみ、同日は大きく伸び悩む動きにも転じた。しかし、週末には改めて押し目買いが優勢に転じる流れに。半導体や人工知能 (AI) などのハイテク株には資金流入の動きが根強く続く格好となっている。

■中銀ウイーク、決算発表など重要イベントが目白押し

先週末の米国株式市場はまちまち。ダウ平均は前日比 79.61 ドル安の 49230.71 ドル、ナスダックは同 398.10 ポイント高の 24836.60 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値 420 円高の 60140 円。4月ミシガン大学消費者信頼感指数が過去最低に落ち込みマイナス視されたものの、半導体企業の好決算が好感されてハイテク株は上昇。イラン和平協議の開催が明らかになったことも支援材料となった。

今週は重要イベントが目白押し。日銀金融政策決定会合、米連邦公開市場委員会 (FOMC)、欧州中央銀行 (ECB) 理事会、英金融政策委員会など各国で中銀イベントが予定されているほか、国内ではハイテク株を中心とした主要企業の決算発表が本格化し、海外でも指数や国内関連企業に影響を与える大型株の決算発表が多くなる。こうした中、国内では週中に祝日を挟むほか、週末から5連休を迎える。非常にボラタイルな展開が続くとみられる一方、さすがに週末にかけては、イラン情勢が不透明な中、ポジション整理の動きが強まるものとみられる。

各国の中銀イベントは、おおむねサプライズが乏しいとみられる。日銀の4月利上げ観測は急速に後退しており、政策金利は据え置かれよう。会合後の植田総裁会見でも、利上げに関する明確なガイダンスは示されない公算が大きい。ただし、インフレ見通しは大幅に上方修正される可能性が高く、それに伴って、6月利上げを織り込みに行く動きになるものとみられる。FOMCでも、中東情勢の先行きをなお見極めたいとして、3会合連続で政策金利は据え置かれる公算が大きい。

■29日にはハイパースケーラーの決算発表が集中

今週・来週の株式市場の方向性を左右するのは、半導体・AI

関連企業の決算発表となろう。総じてガイダンスは安心感を強めさせるものとなりそうで、決算発表前には還元強化などへの期待も高まりやすいと考えられる。一方、ハイテク株以外の発表も多いが、こちらは、中東情勢緊迫化のマイナス影響をガイダンスに強く織り込む企業も散見されるとみられ、類似企業や関連業種などへ波及する流れには警戒したい。海外企業の決算発表では29日が山場となる。アマゾン、アルファベット、メタ、マイクロソフトなどハイパースケーラーの決算が集中する。

ゴールデンウィークに向けては、一旦ポジションを縮小しておくべきであろう。イラン情勢の改善が進む可能性はあるが、市場では前倒しで戦争終結を織り込むような動きにもなっており、その場合でも一段の上値追い材料につながるかは不透明であろう。AI・半導体関連の一極集中の動きにも過熱感が強まりつつある中、セルインメイという格言への意識も徐々に強まってくるものとする。連休明けは休場中のイラン情勢の変化、海外市場動向がカギを握るが、不透明感はいち切れぬ。

■日・米・欧で金融政策会合が開催

今週・来週にかけて、国内では、28日に展望レポート、3月失業率・有効求人倍率、30日に3月商業動態統計、3月鉱工業生産、4月消費動向調査、5月1日に4月東京都区部消費者物価、7日に4月マネタリーベース、4月都心オフィス空室率、8日に3月毎月勤労統計調査などが予定されている。また、27日から28日にかけて日銀金融政策決定会合が開催され、28日には植田日銀総裁が会見予定。なお、29日、5月4・5・6日は祝日のため株式市場は休場となる。

海外では、28日に米・2月住宅価格指数、2月S&Pケースシラー住宅価格指数、4月コンファレンスボード消費者信頼感指数、29日に米・3月住宅着工件数・建設許可件数、3月耐久財受注、30日に中・4月製造業・非製造業PMI (国家統計局)、4月製造業PMI (RatingDog)、欧・1-3月期ユーロ圏GDP、3月ユーロ圏失業率、4月ユーロ圏消費者物価指数、米・1-3月期GDP、3月個人消費・個人支出・デフレーター、4月シカゴ購買部協会景況指数、新規失業保険申請件数、5月1日に米・4月ISM製造業景気指数、4月自動車販売台数、4日に米・3月製造業受注、5日に米・3月貿易収支、3月新築住宅販売件数、3月JOLTS 求人件数、4月ISM非製造業景気指数、6日に米・4月ADP 雇用統計、7日に米・3月消費者信用残高、新規失業保険申請件数、8日に米・4月雇用統計、5月ミシガン大学消費者マインド指数などが発表される。なお、28日から29日にかけてFOMCが開催され、29日にはパウエルFRB議長会見が予定されているほか、29日から30日にかけてECB理事会、30日に英金融政策決定会合が開催される。

防衛関連株の人気継続へ、初値好調の直近IPO銘柄にも注目

■データセンター関連株などに物色が向かうか

今週・来週の新興市場は、ホルムズ海峡封鎖の長期化で原油輸入がさらに細ることへの懸念が残る中、プライム市場での生成AI株人気によるデータセンター関連株としての切り口から、蓄電システムのパワーエックス<485A>に引き続き物色の矛先が向かいそうだ。また、先週末にACSL<6232>が前日比10%超の急伸でグロスでの売買代金首位となっており、ドローンなど防衛関連株の人気継続を示唆する形となっている。同銘柄に加えて、同日に手じまい売りに押されたTerra Drone<278A>や、アストロスケールホールディングス<186A>、QPSホールディングス<464A>など宇宙関連株の反騰が期待できよう。

また、9日上場のソフトテックス<550A>から24日上場の梅乃宿酒造<559A>まで5銘柄連続で初値が公開価格を上回り、IPO市場の復調をうかがわせている。ただ、今週以降はIPO銘柄がないことから、新物人気は直近IPO銘柄に移るとみられる。ペット関連として個人投資家に注目されやすい犬猫生活<556A>や、初値が公開価格比4.5%高で上値余地を残す形となったSQUEEZE<558A>の動意が期待できよう。

なお、先週も東証による上場承認はなく、現在のところ、今週以降にIPOの予定はない。

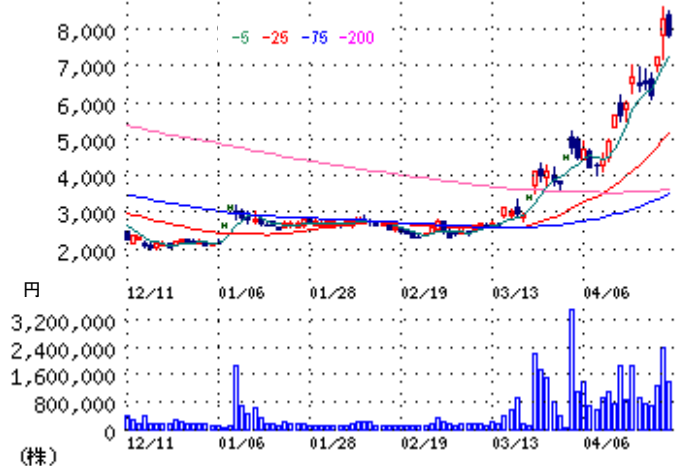
東証グロス市場 250 指数



パワーエックス<485A>



TERADORONE<278A>



重要イベント目白押しな中でも AI 大手の決算が最注目/米国株式相場 今週・来週の見通し

■先週の動き

先週の米国株はまちまち。週間ベースの騰落率は、NY ダウが-0.44%、ナスダックが+1.50%、S&P500が+0.55%。ホルムズ海峡の封鎖長期化懸念で原油相場が上昇、バンス副大統領のイラン和平交渉参加のための訪問延期も伝わって、週前半は上値の重い展開となった。週半ばにかけては、トランプ大統領がイランとの停戦を延長すると発表し和平交渉進展期待が再燃、大きく上昇する場面も見られた。ただし、イラン側の交渉団としてイラン革命防衛隊が主導権を握ったと伝わるなど、依然としてイラン情勢の行方には不透明感が継続している。こうした中、半導体企業の好決算発表が相次ぎ、SOX 指数が週末にかけて 18 連騰を記録するなど、半導体や人工知能 (AI) などのハイテク株には資金流入の動きが継続、ナスダック指数は相対的に強い動きとなっている。

個別では、マーベルは、グーグルと共同で効率性を高める新たなチップを共同で開発すると発表し上昇。ユナイテッドヘルスは通期予想引き上げや自社株買い計画が好感された。アマゾン、アンソロピックへの追加出資計画や GLP-1 体重管理プログラム開始を発表し上昇。ボーイングは損失が警戒されたほど拡大せず安心感。アルファベットは独自の新世代 AI チップを発表し買われた。パランティアは、農務省と農家への業務用ソフトウェア提供契約締結で上昇。TI は第 1 四半期好決算や強気見通しが好感された。インテルは、第 1 四半期決算の結果や第 2 四半期の見通しが予想を上回り上昇。P&G も売上高の伸びが予想を上回って買われた。アルファベットは、アンソロピックに 300 億ドル追加投資する可能性が報じられ上昇。メタは、アマゾンと AWS グラビトンプロセッサの利用に関する合意書に署名、大幅な提携拡大を明らかにして、アマゾンとともに買われた。

一方、イーライリリーは、がん治療薬開発バイオ企業を最大 70 億ドル規模で買収と発表し下落。アメリカンは、同業ユナイテッドによる潜在的な買収案を拒否する姿勢を明らかにし売り材料視。ベスト・バイは CEO が退任を発表し下落。アップルもクック CEO の退任発表で一時売られる場面も。ユナイテッドは通期の業績見通し引き下げが嫌気された。サービスナウは第 1 四半期売上高増加も、アーミス買収による利益率の圧迫懸念、中東紛争で一部売上が先送りとなる可能性などが重しとなり下落。テスラは資本支出の大幅拡大計画がマイナス視された。ロッキード・マーチンは第 1 四半期売上が予想を下回ったほか、弾丸増産によるネガティブキャッシュフローが嫌気された。

■今週・来週の見通し

28 日から 29 日にかけては連邦公開市場委員会 (FOMC) が開催され、29 日にはパウエル連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の会見が予定されている。インフレ再燃の警戒感が高まっている一方、中東情勢の先行きをなお見極めたいとして、3 会合連続で政策金利は据え置かれる公算が大きい。ハト派議員やタカ派議員のそれぞれのスタンスの変化などに注目だが、当面は金利据え置きとの見方が強まりそうな印象。ちなみに、今回はパウエル氏が議長として臨む最後の FOMC となる。

ほか、1-3 月期の国内総生産 (GDP)、ISM 製造業景気指数、雇用統計など重要な経済指標も多いが、本格化する決算発表がより注目されることになろう。とりわけ、29 日がヤマ場となる公算が大きい。アマゾン、アルファベット、メタ、マイクロソフトなど大手ハイパースケーラーの決算が集中する。設備投資動向など AI・半導体関連銘柄の株価に大きな影響を与えよう。先週末にかけて SOX 指数が 18 連騰を記録するなど過熱感は強く、利食い売りのきっかけにつながるリスクは意識しておきたい。なお、ここ 2 週間で、コーニング、AMD、サムスン電子、アーム、インフィニオンなども発表予定。

経済指標は、28 日に 2 月住宅価格指数、2 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、4 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、29 日に 3 月住宅着工・建設許可件数、3 月耐久財受注、30 日に 1-3 月期 GDP、3 月個人消費・個人支出・デフレター、4 月シカゴ購買部協会景況指数、5 月 1 日に 4 月 ISM 製造業景気指数、4 月自動車販売台数、4 日に 3 月製造業受注、5 日に 3 月貿易収支、3 月新築住宅販売件数、3 月 JOLTS 求人件数、4 月 ISM 非製造業景気指数、6 日に 4 月 ADP 雇用統計、8 日に 4 月雇用統計、5 月ミシガン大学消費者マインド指数などが発表される。なお、28 日から 29 日に FOMC が開催され、29 日にはパウエル FRB 議長会見が予定されている。

主な決算発表は、27 日にベライゾン、ニューコア、ユニバーサル・ヘルス、28 日にテラダイン、コーニング、GM、コカ・コーラ、ノバルティス、スターバックス、シーゲイト、UPS、ビザ、シスコ、29 日に ADP、アマゾン、アルファベット、メタ、マイクロソフト、クアルコム、フォード、30 日にアップル、アムジェン、キャタピラー、イーライリリー、マスターカード、メルク、ウェスタン・デジタル、5 月 1 日にシェブロン、エクソンモービル、4 日にパランティア、オン・セミ、5 日にデュポン、AMD、ファイザー、ペイパル、6 日にウォルト・ディズニー、グッドイヤー、ウーバー、7 日にマクドナルド、アレグロマイクロなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

158.00 円 ~ 161.00 円

今週・来週のドル・円は上昇一服か。4月28、29日に開かれる米連邦公開市場委員会（FOMC）の会合では、政策金利の据え置きが決定される見込み。中東紛争の長期化が警戒されており、原油相場の動向が金利見通しに影響を及ぼす状態が続くとみられる。ただ、イスラエルとレバノンの停戦期間中に米国とイランの戦争終結に向けた動きが加速する可能性は残されている。

一方、4月27、28日開催の日本銀行金融政策決定会合でも政策金利は据え置きの算算だが、市場は6月の利上げを織り込みつつあるようだ。また、日本政府は過度な円安を懸念しており、1ドル=160円を超えて米ドル高円安が進行した場合、為替介入が実施される可能性があることも、米ドル高・円安の一段の進行を抑制するとみられる。

【日本銀行金融政策決定会合】（27-28日開催予定）

日本銀行は27-28日に金融政策決定会合を開催し、政策金利の据え置きを決定する見通し。ほぼ織り込み済みで、6月の政策修正が予見された場合、円売りは限定的となりそうだ。

【米連邦公開市場委員会（FOMC）】（28-29日開催予定）

米連邦準備制度理事会（FRB）は28-29日開催の連邦公開市場委員会（FOMC）の会合で、政策金利の据え置きを決定する算算。当面は政策維持が見込まれるものの、インフレ抑制の方針が提示された場合はドル買い要因に。

債券市場

債券先物予想レンジ

129.75 円 ~ 130.25 円

長期国債利回り予想レンジ

2.400 % ~ 2.500 %

■先週の動き

先週（4月20日-24日）の債券市場で長期債利回りは強含み。米長期金利や原油価格の上昇のほか、日本銀行による国債買い入れオペの結果を受けて、中・長期債の売りが優勢となった。3-5年や5-10年の応札倍率が上昇したことが嫌気されたようだ。トランプ米大統領はイランとの停戦を期限を定めない形で延長したが、米国とイランの紛争解決に向けた試みは難航しており、原油先物の上昇や米ドル高円安の流れが続いている。米長期金利が底堅く推移していることから、国内の長期債利回りに多少の上昇圧力が加えられた。

10年債利回りはやや強含み。2.412%近辺で20日の取引を開始し、21日に2.379%近辺まで低下したが、原油先物の上昇や為替相場の円安反転を受けてじり高となり、24日の取引で2.452%近辺まで上昇し、2.439%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物は伸び悩み。130円03銭で20日の取引を開始し、21日にかけて130円41銭まで買われたが、原油先物の上昇や為替相場の円安反転を受けてじり安となった。23日の夜間取引で129円81銭まで下落。24日の取引では原油先物の上昇が一服して130円01銭まで戻しており、130円00銭でこの週の取引を終えた。

■今週・来週の見通し

今週・来週（4月27日-5月8日）の債券市場では、中東情勢を意識した取引が主体となりそうだ。原油高によるインフレ懸念に加え、需給面の緩みが金利上昇圧力として意識されそう。世界経済の見通しは極めて不透明であり、今回開催の日本銀行金融政策決定会合では政策維持が見込まれるものの、展望レポートや植田日銀総裁の会見で物価上振れの可能性が指摘された場合、長期債利回りは強含みとなり得る。リバランスに絡んだ長期債などの買いは一服しているため、金利上昇を抑える具体的な材料が提供されない場合、長期債利回りは底堅い動きを維持する可能性がある。

債券先物6月限は主に130円を挟んだ水準で推移か。中東紛争の長期化が警戒されていることや原油価格の高止まりは、債券先物の反発を抑える要因となる。国内投資家によるリバランスに絡んだ国債投資は一服しているため、債券先物の上昇余地は小さいとみられる。

29日の米AI大手4社の決算発表を受けたAI・半導体関連の動向に注目

先週の日経平均は大幅続伸、一時 60000 円の大台に乗せる場面も見られた。イラン情勢は依然として混乱しているが、早期の収束を織り込む動きが引き続き優勢となっている。加えて、米国市場では AI・半導体関連の上値追いが続いており、SOX 指数に至っては週末にかけて 18 連騰に。国内市場でも同関連株が指数の上昇を牽引している。業種別では、ソフトバンク G の上昇がけん引して情報・通信が上昇率トップ、電気機器も買われる。一方、全般的に値下がり業種が多い中、石油、自動車、銀行などの下げが目立つ。銀行株は利下げ期待の後退が背景に。

個別では、政府が MBK に買収中止勧告と伝わったことで急落した牧野フライスだが、その後日本産業推進機構の買収提案が伝わり急反発。想定通りの好決算に加え自社株買いを発表したオービックが買い先行。キヤノン MJ もコンセンサス上振れ決算が好感される。ほか、アンソロピックとの提携発表の NEC、米オン社と資本業務提携のリガク HD、日立の家電事業を買収方針と伝わったノジマなども上昇。ワコールには再編思惑が高まった。半面、キヤノンは想定以上の下方修正がネガティブ視される。アイザワ証券も大幅経常減益の決算速報が嫌気される。神戸物産は3月の既存店出荷が前年割れに転じて大幅安。ソニーFG はソニー生命の金銭詐取報道が嫌気される。カブコンは「プラグマタ」100 万本突破と発表も出尽くし感が強まった。KLab は「ドラクエスマグロ」好スタートで買い先行も急速に伸び悩む。コニカミノルタは中計公表も新年度ガイダンスをマイナス視。

今週は重要イベントが目白押しとなる。27 日から 28 日にかけて日銀金融政策決定会合が開催されるほか、米国、欧州、英国でも金融政策会合が開かれる。また、米国や欧州では 1-3 月期 GDP なども発表予定。ただ、各国の金融政策は今回据え置き公算が大きく、市場へのインパクトは限られよう。このため、最も注目されるのは国内外での主要企業の決算発表となる。とりわけ、米国では 29 日にアマゾン、アルファベット、メタ、マイクロソフトの決算発表が重なる。ガイダンスやデータセンターの投資計画などを受けて、国内外の AI 関連株や半導体株に大きな影響を与えることになる。ほかにも、今週から来週にかけて国内では、27 日に日立、アドバンテスト、第一三共、28 日に信越化学、三菱電機、コマツ、富士通、デンソー、TDK、30 日に東京エレクト、村田製、レーザーテック、商船三井、5 月 1 日に三菱商、三井物、8 日にトヨタ、ソニーG、任天堂、川崎汽などが発表予定。海外でも、コーニング、クアルコム、サムスン電子、アップル、キヤタピラー、AMD、アームなどが予定されている。

29 日の米 AI 大手決算にポジティブサプライズが生じない限り、イラン情勢の不透明感が拭えない中での大型連休突入とあって、今週はポジション調整の手仕舞い売りが優勢となる公算。連休明けの来週においても、SOX 指数連騰の反動は警戒しておく必要がある。AI・半導体関連株からの資金シフトの受け皿を探るべく、同関連以外の好決算銘柄などを十分に見極めていくべきタイミングと考える。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	コード	銘柄	終値 (円)	騰落率 (%)	上位セクター	騰落率 (%)
7220	武蔵精密工業	4,800.0	53.35	3656	KLab	258.0	-24.34	情報・通信業	6.70
4062	イビデン	12,540.0	35.79	3681	フイキューブ	52.0	-18.75	電気機器	2.06
9984	ソフトバンクグループ	5,963.0	31.72	4902	コニカミノルタ	493.8	-16.87	機械	1.93
2371	カカコム	2,750.0	28.24	6196	ストライクグループ	1,217.0	-16.47	金属製品	1.70
2737	トーマンデバイス	14,620.0	23.90	9229	サンウェルズ	210.0	-15.66	鉱業	1.04
6800	ヨコオ	4,635.0	16.17	4568	第一三共	2,499.0	-14.97	非鉄金属	0.32
4022	ラサ工業	2,059.0	15.67	5707	東邦亜鉛	1,207.0	-13.72	ガラス・土石製品	0.10
6875	メガチップス	10,320.0	14.79	8708	アイザワ証券グループ	1,409.0	-13.61	下位セクター	騰落率 (%)
6707	サンケン電気	9,706.0	14.77	8344	山形銀行	2,415.0	-13.32	石油・石炭製品	-6.81
285A	キオクシアホールディングス	34,580.0	13.27	7731	ニコン	1,674.5	-12.58	輸送用機器	-5.48
4819	デジタルガレージ	2,685.0	13.15	2980	SREホールディングス	3,250.0	-12.52	その他製品	-5.40
3445	RS Technologies	5,000.0	13.12	3769	GMOペイメントゲートウェイ	7,969.0	-12.15	銀行業	-5.19
6526	ソシオネクスト	2,046.5	13.04	543A	ARCHION	340.0	-12.14	電力・ガス業	-5.19
6920	レーザーテック	45,060.0	12.79	3697	SHIFIT	661.4	-11.81	小売業	-5.15
6387	サムコ	10,860.0	12.66	3038	神戸物産	2,734.0	-11.78	水産・農林業	-4.95

史上最高値更新を継続、NT 倍率急騰で短期調整リスクも

■上値追いの勢いの強さを確認する形

先週（4月20-24日）の日経平均は3週連続で上昇した。1週間の上げ幅は1240.28円（前週1551.79円）だった。

日経平均は先週も騰勢が衰えず、4月23日には60013.98円まで上値を伸ばし、初めて6万円の大台を突破した。週足ローソク足は5本陽線で地合いの強さを裏付ける形となった。

今週から5月1週にかけて、日経平均は史上最高値更新を続けそうだ。25日や13週、52週など主要な移動平均線は右肩上がりキープして上昇トレンド継続を示唆。週足ローソク足は高値、安値、終値を連続して切り上げる赤三兵を2週続けて示現して上値追いの勢いの強さを確認する形となっている。

先週末の移動平均線乖離率は25日線比で7.41%と、5%を超えて過熱ゾーンにある。しかし、13週線比では7.13%と過熱感が意識される10%まで余裕を残しており、上昇トレンドの延長が予想される。

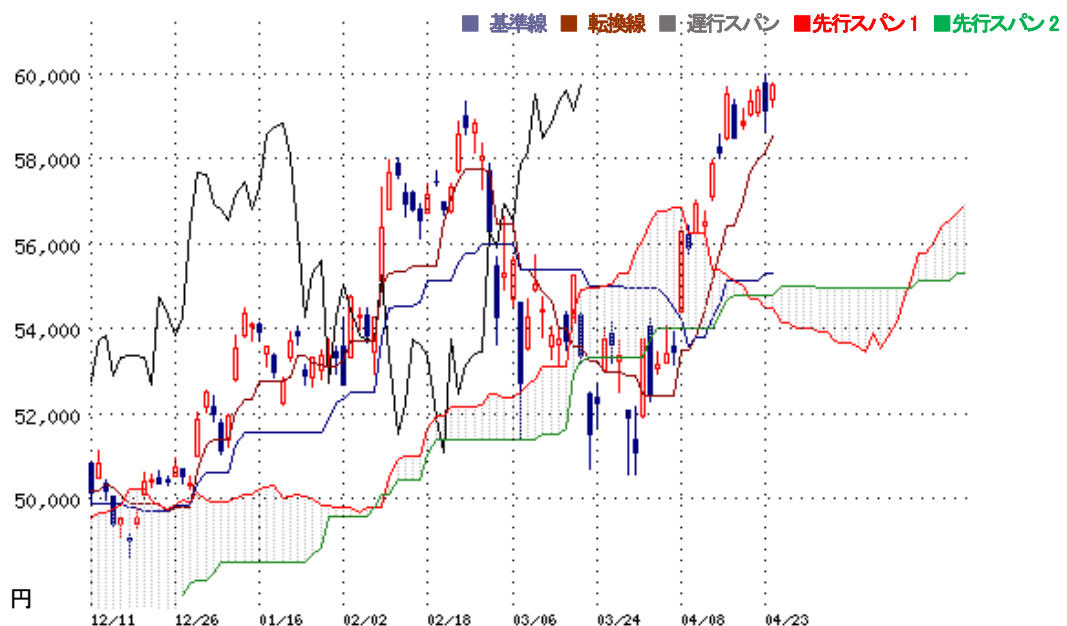
先週末終値が25日線を上回る銘柄は、プライム市場の全銘柄

で30%（先々週末17日は58%）、日経平均採用225銘柄で83銘柄（同141銘柄）と過半数を下回った。短中期投資家の含み損益は急速に悪化したとみられ、日経平均の短期的な下振れリスクに留意が必要となろう。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では先週末終値が+1σと+2σの間付近の買い手優勢の位置にある。直近3週末の1σの値幅は1455.19円→2312.65円→2970.44円と拡大を続けている。NT倍率が先週末大引けで16.06と現行の日経平均算出ルール下で最大となっており、日経平均の対TOPIXでの割高調整に伴う短期急落リスクにも留意したい。

上値では、13週線比10%高（先週末終値で61314.02円）、ボリンジャーバンドの+3σ（先週末終値で61535.53円）が目標となろう。一方、直近ボトムの3月31日安値から4月23日高値まで9455.07円高と短期間で急騰しており、3分1押し56862.29円前後までの大幅な調整リスクにも留意したい。

一目均衡表（日経平均）



日本たばこ産業〈2914〉プライム

たばこ事業の力強いモメンタム継続で今期増収増益見通し、配当利回り 4%超え

■たばこ事業の力強いモメンタム継続

たばこ事業及び加工食品事業を展開するグローバル企業。主力のたばこ事業は世界130カ国以上に展開し、販売数量で世界第3位の規模を有する。25年12月期の売上収益は3兆4676億円(前期比13.4%増)、営業利益8670億円(同175.9%増)で着地した。たばこ事業のオーガニックな成長に加えて、Vector Group (VGR)の買収効果が寄与した。今期は、売上収益3兆6970億円(前期比6.6%増)、営業利益9210億円(同6.2%増)を見込む。プライシング効果の継続的な発現及びRRP関連売上収益の増加など、たばこ事業の力強いモメンタムが継続する想定となっている。

■HTSカテゴリ内シェア拡大へ

中東情勢が緊迫している中、同社株価は底堅く推移している。25年スタートの3カ年中期経営計画では、為替影響を除いた営業利益で年平均「1ケタ後半成長」を目標として掲げる。加熱式た

売買単位	100 株
4/24 終値	5829 円
目標株価	6200 円
業種	食料品

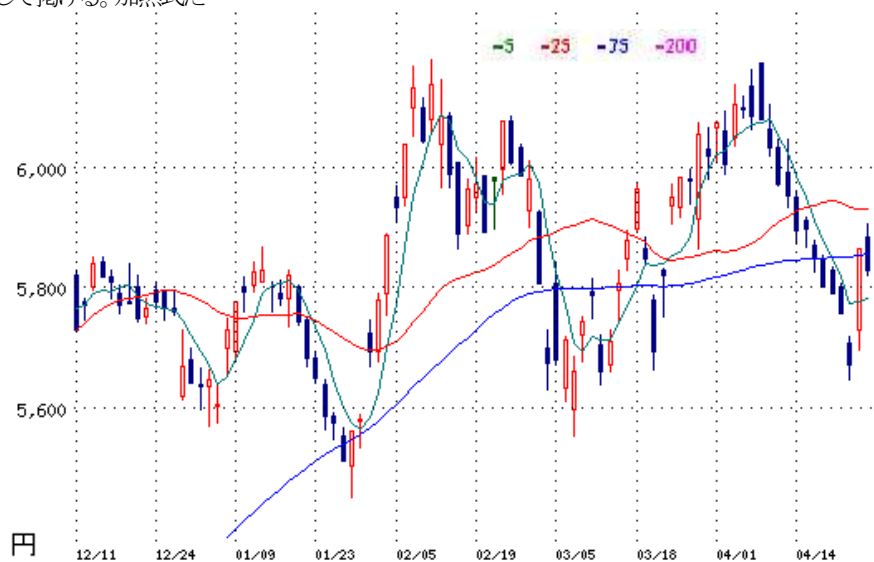
ばこ (HTS) への経営資源の最優先投入を基本方針とする。28 年未までに日本やイタリアなどの主要市場で HTS カテゴリ内シェアを引き上げる。引き続き積極的な株主還元で、配当利回り 4%以上で推移する中、まずは4月高値を超える6200円の到達に期待したい。

★リスク要因

原材料費の上昇などコスト高。

2014:日足

株価は底堅くレンジ内で推移。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	2,657,832	14.3%	653,575	593,450	25.6%	442,716	249.45
2023/12連	2,841,077	6.9%	672,410	621,601	4.7%	482,288	271.69
2024/12連	3,056,709	7.6%	314,223	224,333	-63.9%	179,240	100.95
2025/12連	3,467,675	13.4%	867,038	739,786	229.8%	510,175	287.36
2026/12連 ¹ 予	3,697,000	6.6%	921,000	-	-	570,000	321.06

大王製紙〈3880〉プライム

国内紙・板紙需要の8%を生産、シェアトップの「エリエール」を展開

■シェアはティッシュ28%、トイレットペーパー31%

洋紙(新聞用紙、出版・印刷用紙等)や板紙、段ボールなどの「紙・板紙」事業が売上高の53%を占め、ティッシュやトイレットペーパー、紙おむつなどの「ホーム&パーソナルケア(H&PC)事業」が44%となっている。海外8カ国で事業展開し、H&PC海外売上が連結売上高の14%を占める(25年3月期)。紙・板紙生産量は国内需要の約8%に相当し、また、クラフトパルプ(化学パルプ)生産量は針葉樹パルプで国内首位、広葉樹パルプで同2位となっている。H&PC事業のブランド「エリエール」の市場シェアは、ティッシュペーパー28%、トイレットペーパー31%、キッチンタオル27%で、それぞれトップシェアを誇る。

■26年3月期営業利益は前期比2.2倍の見込み

26年3月期第3四半期累計の売上高は4930.63億円(前年同期比1.8%減)、営業利益は180.92億円(同2.6倍)。各事業の収

売買単位	100 株
4/24 終値	959 円
目標株価	1244 円
業種	パルプ・紙

益改善が続く中、特に衛生用紙が堅調に推移している。26年3月期通期売上高は6700億円(前期比0.2%増)、営業利益は220億円(同2.2倍)の見込み。予想の前提は円レートが1ドル=150円、ドバイ原油が72.0ドル/バレル(期中平均)。株価は調整場面だが業績は好調だ。年初来高値1244円を目標株価としたい。

★リスク要因

円相場や原油価格の急激・大幅な変動など。

3880:日足

業績は好調だが株価は調整場面。買い場探しのタイミングか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連	612,314	8.8%	37,569	37,696	9.3%	23,721	142.91
2023/3連	646,213	5.5%	-21,441	-24,050	-	-34,705	-
2024/3連	671,688	3.9%	14,367	9,622	-	4,472	26.89
2025/3連	668,912	-0.4%	9,807	4,530	-52.9%	-11,197	-
2026/3連予	670,000	0.2%	22,000	14,000	209.1%	5,000	30.04

カヤック〈3904〉グロース

先行投資で今期減益見通しも、成長ストーリーは不変

■クリエイター比率90%超の組織と企画力が強み

広告・DX 受託やゲーム開発を中核とするデジタルコンテンツ企業。クリエイター比率 90%超の組織と企画力を強みに、通称「面白法人」として独自のコンテンツ創出を展開。ハイパーカジュアルゲーム(ハイカジ)や IP 開発を軸に、ゲーム・アニメ領域へのリソースを重点配分する方針を示している。日本企業アプリDL数においては、21年から5年連続でNo.1を達成。また、鎌倉発の企業として、関係人口プラットフォーム「スマウト」など地方創生に関わる事業も手掛ける。スマウトは全自治体の60%以上が導入中。

■大型IPとのゲーム開発始動で今期は先行投資が重し

2月16日大引け後に、25年12月期通期決算を発表。決算発表前に思惑的な買いが先行し株価は上昇していたものの、26年12月期の減益見通しが嫌気され急反落した。利益率押し下げの

売買単位	100 株
4/24 終値	415 円
目標株価	500 円
業種	情報・通信

主因は、大型IPとのゲーム開発始動に伴う先行投資によるもの。ハイカジを中心とした業績の伸長は続いており、中期的な成長期待は維持されよう。株価は25日線突破が目先の焦点となる中、75日線が位置する付近の500円を当面の目標とする。

★リスク要因

為替市場の急変動など。

3904: 日足

25日線突破が目先の焦点。達成なら戻り基調強まる展開か。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	16,502	31.3%	1,205	1,213	-4.1%	779	50.11
2023/12連	17,467	5.8%	1,021	1,038	-14.4%	511	31.97
2024/12連	16,727	-4.2%	358	401	-61.4%	149	9.25
2025/12連	20,094	20.1%	1,071	850	112.0%	683	42.63
2026/12連予	23,000	14.5%	1,000	950	11.8%	600	38.94

小野薬品工業〈4528〉プライム

革新的新薬の創出とグローバル展開を加速させる研究開発型スペシャリスト企業

■がん免疫療法で世界的地位を確立した研究開発型製薬企業

研究開発主導型のビジネスモデルを軸に、がん免疫療法薬「オプジーボ」で世界的な地位を確立した製薬企業。研究開発費比率は20～25%と高水準を維持し、持続的成長に向けた投資を継続している。26年3月期第3四半期累計は売上収益3970.36億円(前年同期比6.0%増)、営業利益882.92億円(同24.8%増)と増収増益を達成し、海外ロイヤルティ収入の拡大やデサイフェラ社買収の寄与が業績を押し上げた。通期では売上収益4900億円(前期比0.6%増)、営業利益850億円(同42.3%増)を見込み、大幅増益を計画している。

■次世代成長ドライバーの確立が焦点

同社は今後も、売上 CAGR1 桁後半、営業利益率 25%以上の維持を目標とする。特にオプジーボに続く収益柱の創出が最大のテーマだが、26年はフェーズ2試験結果の発表が相次ぐ重

売買単位	100 株
4/24 終値	2350 円
目標株価	2600 円
業種	医薬品

要な年であり、成功すれば次フェーズ移行による企業価値向上が期待される。また、欧米での開発・販売基盤を獲得したことでグローバル展開が加速していく。株主還元は安定配当を維持し、配当利回り 3%超。インカムゲインを獲得しつつ、次世代パイプライン進捗を見極め、一旦は 2600 円までの回復に期待する。

★リスク要因

主力製品依存、パイプラインの不確実性など。

4528:日足

75 日線下回って下値模索の展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/3連I	361,361	16.8%	103,195	105,025	4.1%	80,519	162.19
2023/3連I	447,187	23.8%	141,963	143,532	36.7%	112,723	230.85
2024/3連I	502,672	12.4%	159,935	163,734	14.1%	127,977	266.61
2025/3連I	486,871	-3.1%	59,747	59,328	-63.8%	50,047	106.55
2026/3連I予	490,000	0.6%	85,000	85,000	43.3%	67,000	142.62

JRC 〈6224〉 グロース

中期経営計画達成へ先行投資本格化、成長シナリオは不変

■今期より「カンパニー制」へ

ニッチトップかつリカーリング性の高いコンベヤ事業を中核に、自社一貫対応を強みとする環境プラント事業、製造業の現場ノウハウを活かしたロボット SI 事業の 3 事業を展開。27 年 2 月期からはカンパニー制へ移行しており、従来コンベヤ事業に含まれていた高橋汽罐工業と環境プラント事業の JRC C&M、セイコーテックの 3 社を合併し、環境エネルギーカンパニーへ移管するなど組織再編を実施。近年は M&A も積極化しており、業容拡大が続く。23 年上場後、5 期連続で増収増益基調を継続。

■27年2月期は中計達成に向け先行投資

27 年 2 月期は増収を見込む一方、先行投資の本格化により利益は前期並みの計画となっている。中期経営計画達成に向け先行投資を行う「準備期間」と位置づけられており、具体的には、ベトナム製造拠点の新設、M&A や人的資本への投資などの成長投資を本格化させる方針。また、創業 65 周年記念配当を含め、

売買単位	100 株
4/24 終値	1205 円
目標株価	1400 円
業種	機械

年間 34 円(前期 33 円)と増配基調の継続を見込んでおり、株主還元姿勢も評価できよう。成長ドライバーであるロボット SI カンパニーの収益改善や、体制を強化した環境エネルギーカンパニーのシナジー創出など、中長期的な成長路線は描きやすい。株価は年初来高値(1552 円)からの半値戻し水準である 1400 円を目標とする。

★リスク要因

先行投資回収の遅れなど。

6224: 日足

25 日線近辺で下げ止まり。75 日線接近で反発余地探る。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/2連	8,961	10.8%	1,252	1,270	50.5%	830	1,316.80
2024/2連	9,473	5.7%	1,270	1,273	0.2%	847	67.14
2025/2連	11,064	16.8%	1,375	1,404	10.3%	1,078	87.89
2026/2連	13,746	24.2%	1,964	1,904	35.6%	1,423	111.64
2027/2連予	15,099	9.8%	1,965	1,914	0.5%	1,251	96.85

キッツ〈6498〉プライム

安定収益を土台に成長加速局面へ、海外展開と収益力向上に注目

■半導体・データセンター需要の取り込みが成長を牽引

バルブを中核とする国内最大手の総合バルブメーカーで、建築設備、水処理、石油化学、半導体製造装置など幅広い分野に製品を供給している。素材から鋳造、加工、組立、販売までを一貫して手掛ける体制と、9万種類超の製品群による多品種少量生産への対応力が強みだ。25年12月期は、売上高1766.82億円(前期比2.7%増)、営業利益154.54億円(同8.7%増)となり、5期連続の増収増益で過去最高業績を更新。海外市場での販売拡大や価格改定の浸透、建築設備向けの堅調な需要が業績を支えた。

■半導体回復と海外展開の加速に期待、中期成長余地に注目

26年12月期は、売上高1950億円(前期比10.4%増)、営業利益170億円(同10.0%増)見通しで、半導体関連需要の回復、北米データセンター向けの拡大、インド市場の成長、買収効果の寄与を見込む。特に半導体分野は重点領域であり、足下では受注が回復基調。一方で、ベトナム新工場や海外での費用増など

売買単位	100 株
4/24 終値	2065 円
目標株価	2300 円
業種	機械

先行投資負担はあるが、価格改定の浸透や生産性改善で吸収を図る。中期経営計画では27年に売上高2000億円、営業利益200億円、ROE11%以上を掲げており、安定分野を土台に成長市場を取り込む展開が注目される。成長期待を織り込み、年初来高値の2300円を目標株価とする。

★リスク要因

海外景気減速や半導体投資の抑制など

6498:日足

75日線が下値サポートとして機能するかが焦点。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	159,914	17.8%	11,051	12,045	34.2%	8,549	95.35
2023/12連	166,941	4.4%	13,687	14,452	20.0%	10,591	118.07
2024/12連	172,042	3.1%	14,220	15,276	5.7%	11,824	132.64
2025/12連	176,682	2.7%	15,454	16,071	5.2%	11,465	131.85
2026/12連予	195,000	10.4%	17,000	17,400	8.3%	12,700	146.02

あいちフィナンシャルグループ〈7389〉プライム

愛知銀行と中京銀行が合併して誕生したあいち銀行が傘下

■貸出金残高は愛知県の地域金融グループで最大

25年1月に愛知銀行と中京銀行が合併して誕生したあいち銀行が傘下銀行。25年3月末貸出金残高は4兆8547億円で、愛知県の地域金融グループで最大となっている。拠点数は愛知県の140(うち名古屋市内74)を中心に154。愛知県の企業の12.4%が同行をメインバンクとしており、同地区の地銀・信用金庫でシェア1位。愛知県は総人口746万人と全国4位。製造品出荷額等が1977年以降、全国1位を維持しており、工業が盛んな「ものづくり県」とされている。今後、中部国際空港2本目の滑走路やリニア中央新幹線の整備が見込まれ、同社の事業基盤拡大が期待される。

■26年3月期経常利益は前期比2.9倍の見込み

26年3月期第3四半期累計の経常収益(一般企業の売上高に相当)は905.57億円(前年同期比23.0%増)、経常利益は251.18

売買単位	100 株
4/24 終値	1459 円
目標株価	1710 円
業種	銀行

億円(同74.2%増)。貸出金利息や株式売却益の増加などが収益寄与した。26年3月期通期経常利益は300億円(前期比2.9倍)の見込み。3月26日に前回予想から15%ほど引き上げた。決算発表は5月15日の予定。株価はやや調整場面だが上昇トレンドを維持している。年初来高値1710円を目標株価としたい。

★リスク要因

日本銀行の金融政策のブレなど。

7389: 日足

25日線近辺が下値支持帯として機能するか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
-	-	-	-	-	-	-	-
2023/3連	72,861	-	-	5,237	-	81,806	1,930.50
2024/3連	88,687	21.7%	-	12,584	140.3%	8,295	169.40
2025/3連	101,036	13.9%	-	10,282	-18.3%	9,097	185.43
2026/3連予	120,000	18.8%	-	30,000	191.8%	21,000	430.89

神戸物産 プライム<3038>/既存店出荷の減少がマイナスインパクトに

先週末にかけて下げ幅を広げる展開となる。20日に3月の月次動向を発表。単体営業利益は前年同月比1.9%増となり、前月の同6.0%増から一段と鈍化している。増収率の鈍化が要因となる形に。直轄エリアの既存店出荷実績は同0.3%減となり、これは58カ月ぶりの前年割れとみられる。米の相場下落による客単価の低下、生鮮野菜の価格安定に伴って冷凍野菜の需要が落ち着いたことなどが背景となっている。なお、柏露酒造の完全子会社化も発表している。

輸入プライベートブランド商品の価格改定を徐々に進めており、粗利率は上昇する形になっている。今後も食品インフレの一段の進展が想定される中、価格面での優位性が強まっていく余地もある。いったん下げ止まる公算はあるものの、円安下では高い収益成長は見込みにくく、当面反発力は限定的なものになりそうだ。



野村総合研究所 プライム<4307>/減損計上で下方修正も出尽くし感優勢に

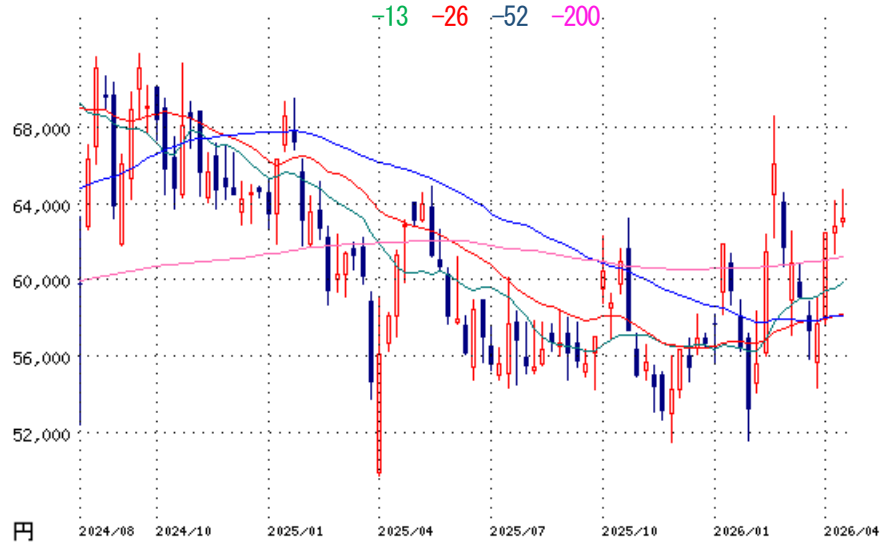
23日に業績予想の修正を発表、26年3月期営業利益は従来予想の1500億円から580億円、前期比57.0%減に引き下げ。豪州のNRI Australia及び北米のCore BTSの事業計画を見直した結果、のれん等の減損損失969億円を計上する見込みになったためとしている。ただ、国内事業の上振れによって、減損損失を除けば営業利益は上方修正の形にもなっている。また、減損の計上によって、海外事業の構造改革が今後進みやすくなったとの期待感も台頭。株価は底固い動きとなる。

先週末には正式に決算を発表、27年3月期営業利益は1750億円で前期比3倍の見通しとしている。時間外取引で株価は2.5%の上昇に。ガイダンスはコンセンサス並みの水準でサプライズは乏しいが、増配や自社株買いを発表しポジティブな反応に。先週末は米サービスナウも急反発、目先は1月に空けた窓埋めの動きとなろう。



キーエンス 東証プライム<6861>

週足ベースのローソク足。4月1週の55000円割れをボトムに急反騰し、先週は4本連続陽線で終了し、赤三兵を2週続けて示現して買い意欲の強さを窺わせた。株価下方では13週移動平均線が上向いているほか、緩やかに上昇する52週線を26週線が下から上に抜いてゴールデンクロスを形成して中長期的な上昇基調の強まりを示唆しているため、2月高値68610円を通過点上値を伸ばす展開が予想される。



三菱瓦斯化学 東証プライム<4182>

日足ベースの一目均衡表。先週末は3月27日以来ほぼ1か月ぶりとなる終値の雲上限突破で三役好転が完成した。遅行線が強気シグナルを増大したこともあり、買い手優位のチャート形状が鮮明になった。ともに上向きの転換線と基準線が上昇トレンド継続を示唆しているほか、基準線が上昇2回目でも相場はまだ若いとみられ、変化日を迎える5月11日前後にかけて株価の上放れが期待できよう。



テーマ別分析: 国内旅行需要に追い風、円安環境下でインバウンドも堅調

■宿泊施設や交通インフラの拡充は引き続き期待材料

今週から来週にかけてはゴールデンウィーク期間となり、旅行需要への関心が高まりやすい時期に入る。足下では円安進行により海外旅行のコスト負担が意識され、国内旅行へシフトする動きもみられている。なかでも沖縄はその恩恵を受けており、2025年の観光客数は過去最高を更新した。また、中東情勢などの地政学リスクや中国人観光客の動向には不透明感が残るものの、2026年3月の訪日外客数は単月として過去最高を更新するなど、インバウンド需要も引き続き堅調に推移している。政府が掲げる「2030年の訪日外客数 6000万人」とする目標も意識される中、宿泊施設や交通インフラの拡充が進む見通しであり、関連市場の中長期的な成長期待は大きいとみられる。今回は国内旅行関連銘柄を下表にまとめた。

■主な「国内旅行」関連銘柄

コード	銘柄略称	市場	4/24 株価 (円)	概要
2353	日本駐車場開発	プライム	248	駐車場事業が主力。子会社を通じてスキー場や那須ハイランドパークの運営等も手掛ける。
3010	ボラリス・HD	スタンダード	177	自社ブランド「KOKO HOTEL」等を展開するホテル運営会社。スターアジアグループとの関係が深い。
4661	オリエンタルランド	プライム	2400	東京ディズニーランド、東京ディズニーシーの運営等を行うテーマパーク事業が主力。
4681	リゾートトラスト	プライム	1746.5	会員制リゾートホテルをはじめ、ゴルフ場などを運営。会員権販売は好調。
4691	ワシントンホテル	スタンダード	2096	ワシントンホテルプラザ、R&Bホテルを運営するホテルチェーン。
4755	楽天グループ	プライム	775.3	旅行予約サービス「楽天トラベル」を運営。2026年GWの国内予約泊数は前年比1.1倍と好調。
5261	リソルHD	プライム	7200	ホテル運営事業、ゴルフ運営事業が柱。インバウンド需要の獲得強化を進める。
6098	リクルートHD	プライム	7308	国内最大級の宿泊予約サイト「じゃらんnet」を運営。
6547	グリーンズ	スタンダード	2340	三重県地盤のホテルオペレーター。ビジネスホテル「コンフォートホテル」などを展開。
9010	富士急行	プライム	2264	山梨県地盤の総合観光企業。
9022	東海旅客鉄道	プライム	4110	東海道新幹線が収益の柱。主要駅等でホテル業も展開。
9603	エイチ・アイ・エス	プライム	1046	旅行会社大手。「変なホテル」等のホテル運営も手掛ける。
9708	帝国ホテル	スタンダード	1234	老舗高級シティホテル。2026年3月に「帝国ホテル 京都」を開業。
9713	ロイヤルホテル	スタンダード	919	国内外にホテルを展開。2026年4月に「リーガロイヤルリゾート 沖縄 北谷」を開業。
9726	KNT-CTHD	スタンダード	2000	近鉄グループの大手旅行会社。傘下に近畿日本ツーリスト、クラブツーリズムなど。
297A	アルピコHD	スタンダード	230	長野県地盤に運輸・観光などを展開。4月より東京オフィスを開設。
409A	オリオンビール	プライム	1262	主力製品「オリオンビール」の強いブランド力と、沖縄観光需要の取り込みが強み。
558A	SQUEEZE	グロース	3245	SaaS「suitebook」を中核とした宿泊・観光領域のDXを推進。

出所：フィスコ作成

連続増配を続けている割安銘柄には買い安心感

■大型連休控えてダウンサイドリスクに警戒

ゴールデンウィーク期間に突入、今週末からは5連休となる。イラン情勢に対する不透明感が拭い切れない中での大型連休を控えるとあって、目先はダウンサイドリスクを警戒して、低PBR銘柄などの割安株に関心を向かわせたい。また、今週からは3月期の決算発表が本格的にスタートする。原油高の影響などガイダンスリスクへの警戒感は強いとみられ、少なくとも減配懸念の乏しいと想定される連続増配銘柄などは買い安心感が強いとみる。

スクリーニング要件としては、①3月期本決算、②26年3月期計画含め5期以上連続で前期比10%以上の増配、③PBRが1倍未満。

■連続増配続ける割安株

コード	銘柄	市場	4/24株価 (円)	時価総額 (億円)	PBR(倍)	株価騰落率 (%)	予想 1株利益 (円)
3232	三重交通グループHD	プライム	531.0	569.8	0.85	-1.67	62.75
3946	トモク	プライム	3,495.0	676.0	0.62	-0.99	424.56
4531	有機合成薬品工業	スタンダード	356.0	78.2	0.59	12.30	-
5644	メタルアート	スタンダード	5,030.0	158.8	0.62	-0.79	727.71
6932	遠藤照明	スタンダード	2,620.0	387.1	0.88	7.42	277.47
7240	NOK	プライム	2,747.0	4551.9	0.77	-2.17	223.47
7283	愛三工業	プライム	1,832.0	1161.6	0.84	-18.03	217.60
8037	カメイ	プライム	3,185.0	1050.8	0.62	5.46	359.48
8045	横浜丸魚	スタンダード	1,600.0	116.2	0.59	13.56	88.26
8078	阪和興業	プライム	1,635.0	3460.7	0.86	14.02	990.52
8368	百五銀行	プライム	1,692.0	4299.7	0.96	47.64	84.88
8600	トモニHD	プライム	866.0	1676.0	0.59	10.46	85.72

(注) 株価乖離率は昨年末比

出所：フィスコアプリより作成

増益見通しを発表した2月期本決算企業

■2027年2月期業績計画は堅調な見通し

東海東京インテリジェンス・ラボでは、増益見通しを発表した2月期本決算企業に注目している。4月14日までに決算発表した2月期企業78社の2027年2月期業績計画を集計すると、当期利益は前年比+3.5%と堅調な見通しとなっていると分析。中東情勢など先行き不透明な環境下にあっても、堅調な業績を見込む企業には投資家の注目が集まるだろうと考察している。そこで同証券では、東証プライム上場企業のうち、時価総額1,000億円以上（4月15日時点）、かつ、2027年2月期会社計画の当期利益増益率が前年比+5.0%以上の企業をスクリーニングしている。

「増益見通しを発表した2月期本決算企業」(東海東京インテリジェンス・ラボ)

コード	銘柄名 QUICK略称	業種	株価 (円) 4/15終値	時価総額 (億円) 4/15時点	当期利益(億円)		
					26年2月期 実績	27年2月期 予想	増益率 (%)
6323	ローツェ	機械	3,852.0	6,794	190.4	278.0	46.0
6506	安川電	電気機器	5,277.0	14,073	352.4	470.0	33.4
6532	ベイカレント	サービス業	5,587.0	8,682	378.4	481.0	27.1
9842	アークランズ	小売業	1,901.0	1,230	80.8	100.0	23.6
7545	西松屋チェ	小売業	2,066.0	1,437	68.4	83.7	22.3
9793	ダイセキ	サービス業	4,155.0	1,994	91.5	112.0	22.3
3387	クリレスHD	小売業	712.0	3,030	46.7	57.0	21.9
7599	IDOM	卸売業	1,388.0	1,483	119.1	142.0	19.2
8016	オンワードHD	繊維製品	804.0	1,141	100.9	112.0	11.0
2685	アンドエステイ	小売業	3,160.0	1,542	94.9	105.0	10.5
2337	いちご	不動産業	493.0	2,050	166.2	180.0	8.3
2726	パルGHD	小売業	1,452.0	2,687	177.1	190.0	7.3
3543	コメダ	卸売業	3,115.0	1,441	64.6	69.0	6.8
8227	しまむら	小売業	3,326.0	7,366	444.6	473.2	6.4
7630	壺番屋	小売業	878.0	1,401	25.6	27.2	6.2
9861	吉野家HD	小売業	3,455.0	2,250	46.6	49.0	5.0

出所：QUICK、会社資料より東海東京インテリジェンス・ラボ作成
予想は会社計画、27年2月期会社計画の当期利益増益率が高い順

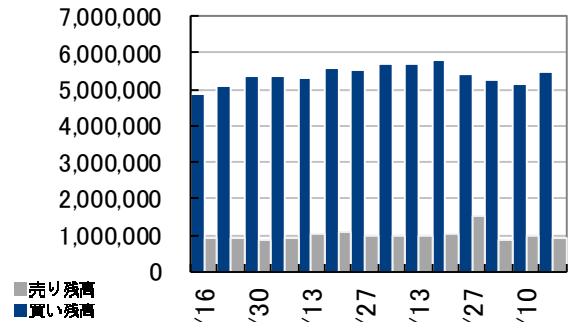
先高期待が強まるなか買い残高が大幅に増加

4月17日時点の2市場信用残高は、買い残高が3294億円増の5兆4859億円、売り残高が298億円減の9434億円。買い残高が4週間ぶりの増加、売り残高は2週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は-6.59%から-4.46%、売り方の評価損益率は24.29%から22.05%に。なお、信用倍率は5.30倍から5.81倍となった。

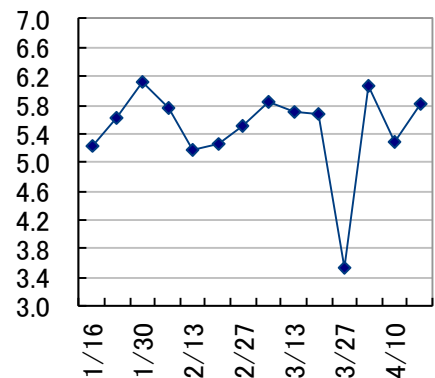
この週(4月13日-17日)の日経平均は前週末終値比1551.79円高の58475.90円。週末に開催された米国とイランの直接協議は合意に至らず、週初は売りが優勢の展開になった。ただ、その後は週央にかけて上値追いの動きに。トランプ大統領がイランとの停戦協議再開の可能性を示唆したことで、停戦期待が改めて高まる形となった。16日には一段高となり、2月26日につけた高値59332円を大きく更新。イラン停戦再交渉や停戦延長の合意期待などで、リスク選好の動きが強まる方向となった。米国市場でのハイテク株高、台湾TSMCの想定以上の好決算発表なども支援材料に。なお、週末は大幅反落で終えた。

個別では、ハーモニック<6324>の信用倍率は2.43倍と、前週の7.84倍から取り組みが改善した。決算を発表した安川電機<6506>の上昇に連動する形で買われるなか、戻り待ち狙いの新規売りが積み上がったようだ。また、マネフォワード<3994>の信用倍率は0.73倍となり、前週の2.31倍から売り長の需給状況になっている。第1四半期決算で営業損益が1.7億円の黒字(前年同期は5.8億円の赤字)に転換したことが材料視された。決算評価からストップ高をつける場面において、買い方の利益確定の売りに対して、反動安を狙った新規売りが積み上がったようだ。そのほか、コナミG<9766>の信用倍率は1.47倍と、前週の4.44倍から取り組みに厚みを増している。調整が続いていたゲーム株を買い戻す動きが強まり、買い方の利食いに対して、新規売りが積み上がっていた。

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	4/24終値 (円)	信用買残 (4/17:株)	信用売残 (4/17:株)	信用倍率 (4/17:倍)	信用買残 (4/10:株)	信用売残 (4/10:株)	信用倍率 (4/10:倍)
6324	プライム	ハーモニック	4,195.0	840,200	345,600	2.43	771,600	98,400	7.84
3994	プライム	マネフォワード	4,921.0	635,800	874,900	0.73	936,200	404,700	2.31
9766	プライム	コナミG	19,900.0	81,900	55,600	1.47	100,700	22,700	4.44
9627	プライム	アインHD	5,800.0	45,300	567,000	0.08	39,000	168,500	0.23
1766	プライム	東建コーポ	13,340.0	19,600	189,200	0.10	18,300	72,000	0.25
4506	プライム	住友ファーマ	2,061.0	8,845,900	4,057,600	2.18	9,399,500	1,899,700	4.95
6501	プライム	日立	5,229.0	7,222,200	450,100	16.05	8,725,000	253,900	34.36
2593	プライム	伊藤園	2,966.0	428,700	1,021,700	0.42	451,700	517,400	0.87
9984	プライム	ソフトバンクG	5,963.0	37,255,600	6,356,600	5.86	46,370,500	4,055,700	11.43
6098	プライム	リクルートHD	7,308.0	1,980,100	294,600	6.72	2,296,600	177,400	12.95
3028	プライム	アルペン	1,996.0	132,800	530,600	0.25	104,000	217,700	0.48
6701	プライム	NEC	4,513.0	10,855,700	422,100	25.72	11,553,100	244,100	47.33
6857	プライム	アドバンテ	29,440.0	3,483,800	3,388,200	1.03	4,394,800	2,374,700	1.85
3382	プライム	7&I-HD	1,913.0	6,089,500	704,200	8.65	8,922,300	578,400	15.43
4755	プライム	楽天G	775.3	20,566,700	1,360,500	15.12	23,114,800	866,500	26.68

コラム:「TACO 相場」の行方

中東情勢の不透明感は続くものの、トランプ米大統領の発言に対する反応が弱まってきました。関税政策と同様にイランとの和平協議でも恫喝と譲歩を繰り返すばかり。そうした事態を受け、為替市場は次のテーマを探る局面に入っています。

中東紛争突入から2カ月弱。市場はトランプ氏の停戦期限の設定と撤回に振り回される展開が続いています。これまで48時間の期限の延長を重ねたり、4月に入っても条件設定を打ち出しては先送りしたり、方針が定まりません。直近でも「延長はない」としながらそれを反故にするなど、「トランプ氏は最終決断の直前にいつも撤退する」(Trump Always Chickens Out、TACO)を象徴するような動きです。

4月21日には米下院で対イラン軍事作戦に議会承認を義務付ける民主党の決議案が、共和党の下院議長に阻止されました。今後は記名投票を含めた再提案が見込まれ、争点は中東情勢そのものに加え、「議会が大統領を抑制できるのか」に移ります。民主党の提案が否決され続ければ軍事行動はトランプ氏の裁量に委ねられ、国際金融市場がTACOに振り回される事態は長引きそうです。

この戦時下では、市場は強硬姿勢に反応してドル買いが進む一方、延長発表でリスク後退と受け止められて巻き戻しが入るなど、値動きは一貫性を欠いています。為替は地政学リスクそのものではなく、トランプ政権の場当たりの交渉スタンスに振られる状況に。ドル・円はドル買いで下値が堅い反面、160円台の為替介入観測が上値を抑え、4月以降は2円余りの値幅にとどまっています。

トランプ氏がイランを武力攻撃した理由は複数考えられます。支持基盤への配慮、前政権路線の否定、イスラエル重視、対外強硬策で主導権奪還などが挙げられるでしょう。今年11月の中間選挙で議席を減らせば実現が困難になるとの見立てから、この時期に決断したとみられます。しかし、イランの抵抗にはホワイトハウスだけでなく、政府や議会も含め米国内が驚いていると外交筋は指摘しています。

問題はイランの出方以上に、米国の外交・安全保障の意思決定が不透明なこと。市場はすでにトランプ氏の強硬姿勢を額面通りには受け取らず、発言の信認を割り引いて織り込み始めました。市場では「うんざり」(短期筋)との声も聞かれます。TACO相場は次第に材料としての効力を失い、主要中銀の金融政策を受けた為替は金利や景気といった本来のテーマへ軸足を移していく局面に入りつつあります。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-5
		決算カレンダー	6-10
2	レーティング	格上げ・買い推奨	11
		格下げ・売り推奨	12
3	投資主体別売買動向	総括コメント	-
		市場別データ	-
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	13
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄 (プライム)	14
		雲下抜け銘柄 (プライム)	15

4月27日～5月9日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
4月27日	月	10:30	中・工業利益(3月)
		14:00	景気先行CI指数(2月)
		14:00	景気一致指数(2月)
		17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(先週)
		20:00	ブ・FGV建設コスト(4月)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
		20:30	ブ・ローン残高(3月)
		20:30	ブ・個人ローン・デフォルト率(3月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)
			参議院予算委員会に高市首相が出席し集中審議
4月28日	火	08:30	有効求人倍率(3月)
		08:30	失業率(3月)
		14:00	消費者物価のコア指標(日本銀行)
		15:00	工作機械受注(3月)
		15:30	日本取引所グループの山道CEOが定例会見
		15:30	植田日銀総裁が会見
		17:00	欧・欧州中央銀行(ECB)がユーロ圏CPI予想
		19:30	印・鉱工業生産(3月)
		21:00	ブ・IBGEインフレ率(IPCA-15)(4月)
		22:00	米・S&PCS20都市住宅価格指数(2月)
		22:00	米・FHFA住宅価格指数(2月)
		23:00	米・消費者信頼感指数(4月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表
			米・連邦公開市場委員会(FOMC)(29日まで)
		4月29日	水
17:00	欧・ユーロ圏マネーサプライ(3月)		
18:00	欧・ユーロ圏景況感指数(4月)		
18:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(4月)		
20:00	ブ・FGVインフレIGPM(4月)		
21:00	独・消費者物価指数(4月)		
21:30	米・住宅着工件数(3月)		
21:30	米・住宅建設許可件数(3月)		
21:30	米・耐久財受注(3月)		
21:30	米・卸売在庫(3月)		
22:45	加・カナダ銀行(中央銀行)が政策金利発表		
27:00	米・連邦公開市場委員会(FOMC)が政策金利発表		
30:30	ブ・ブラジル中央銀行が政策金利(セリック金利)発表		
	株式市場は祝日のため休場(昭和の日)		
	米・FOMC終了後、パウエル連邦準備制度理事会(FRB)議長が記者会見		
4月30日	木	08:50	鉱工業生産指数(3月)
		08:50	小売売上高(3月)
		08:50	百貨店・スーパー売上高(3月)
		10:30	中・製造業PMI(4月)
		10:30	中・非製造業PMI(4月)
		10:30	中・総合PMI(4月)
		10:45	中・RatingDog製造業PMI(4月)
		14:00	消費者態度指数(4月)
		14:00	住宅着工件数(3月)
		16:55	独・失業率(失業保険申請率)(4月)
		17:00	独・GDP(1-3月)

4月27日～5月9日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容		
		18:00	欧・ユーロ圏GDP速報値(1-3月)		
		18:00	欧・ユーロ圏消費者物価指数(4月)		
		18:00	欧・ユーロ圏失業率(3月)		
		20:00	英・イングランド銀行(英中央銀行)が政策金利発表		
		20:30	ブ・基礎的財政収支(3月)		
		20:30	ブ・純債務対GDP比(3月)		
		21:00	ブ・全国失業率(3月)		
		21:00	メキシコ・GDP(1-3月)		
		21:00	南ア・貿易収支(3月)		
		21:15	欧・欧州中央銀行(ECB)が政策金利発表、ラガルド総裁が記者会見		
		21:30	米・個人所得(3月)		
		21:30	米・個人消費支出(3月)		
		21:30	米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(3月)		
		21:30	米・GDP速報値(1-3月)		
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)		
		21:30	米・雇用コスト指数(1-3月)		
		22:45	米・MNIシカゴ購買部協会景気指数(4月)		
		23:00	米・景気先行指数(3月)		
				印・銀行貸出(3月)	
				欧・英・香港・株式市場は祝日のため休場(メーデー)	
				中・株式市場は祝日のため休場(労働節、5日まで)	
		5月1日	金	08:30	東京CPI(4月)
				08:50	対外・対内証券投資(先週)
09:30	製造業PMI(4月)				
20:30	印・外貨準備高(先週)				
20:45	米・製造業PMI確報値(4月)				
23:00	米・ISM製造業景況指数(4月)				
	米・自動車販売(4月、2日までに)				
5月3日	日		憲法記念日		
			アジア開発銀行(ADB)年次総会(6日まで)		
5月4日	月	14:00	印・製造業PMI確定値(4月)		
		17:00	欧・ユーロ圏製造業PMI確報値(4月)		
		20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(先週)		
		20:25	ブ・週次景気動向調査		
		22:00	ブ・製造業PMI(4月)		
		22:00	米・耐久財受注(3月)		
		22:00	米・製造業受注(3月)		
			株式市場は祝日のため休場(みどりの日)		
			ユーロ圏財務相会合(ユーログループ、ブリュッセル)		
			英・株式市場は祝日のため休場(メーデー)		
5月5日	火	13:30	豪・オーストラリア準備銀行(中央銀行)が政策金利発表		
		15:30	スイス・消費者物価指数(4月)		
		17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(4月)		
		20:00	ブ・ブラジル中央銀行金融政策委員会(COPOM)議事録公表		
		21:30	加・貿易収支(3月)		
		21:30	米・貿易収支(3月)		
		22:45	米・サービス業PMI確報値(4月)		
		22:45	米・総合PMI確報値(4月)		
		23:00	米・ISM非製造業景況指数(4月)		
		23:00	米・JOLT求人件数(3月)		
		23:00	米・新築住宅販売件数(3月)		
			株式市場は祝日のため休場(こどもの日)		
			欧・欧州連合(EU)財務相理事会		

4月27日~5月9日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
5月6日	水	07:45	NZ・失業率(1-3月)
		10:45	中・RatingDogサービス業PMI(4月)
		10:45	中・RatingDog総合PMI(4月)
		14:00	印・サービス業PMI確定値(4月)
		14:00	印・総合PMI確定値(4月)
		17:00	欧・ユーロ圏サービス業PMI確報値(4月)
		17:00	欧・ユーロ圏総合PMI確報値(4月)
		18:00	欧・ユーロ圏生産者物価指数(3月)
		21:15	米・ADP全米雇用報告(4月)
		22:00	ブ・サービス業PMI(4月)
		22:00	ブ・総合PMI(4月)
5月7日	木	08:50	日銀政策委員会・金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分)
		08:50	マネタリーベース(4月)
		10:30	豪・貿易収支(3月)
		11:00	東京オフィス空室率(4月)
		15:00	独・製造業受注(3月)
		16:00	スイス・失業率(4月)
		18:00	欧・ユーロ圏小売売上高(3月)
		20:30	米・チャレンジャー人員削減数(4月)
		21:00	ブ・鉱工業生産(3月)
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・非農業部門労働生産性(1-3月)
		23:00	米・建設支出(3月)
		24:00	米・NY連銀インフレ期待(4月)
		27:00	ブ・貿易収支(4月)
		28:00	メキシコ・中央銀行が政策金利発表
		28:00	米・消費者信用残高(3月)
			中・外貨準備高(4月)
			英・地方選・スコットランド議会選
		5月8日	金
08:30	実質賃金総額(3月)		
09:30	サービス業PMI(4月)		
09:30	総合PMI(4月)		
15:00	独・鉱工業生産指数(3月)		
20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IGP-DI)(4月)		
20:30	印・外貨準備高(先週)		
21:30	加・失業率(4月)		
21:30	米・非農業部門雇用者数(4月)		
21:30	米・失業率(4月)		
21:30	米・平均時給(4月)		
23:00	米・ミンガン大学消費者信頼感指数速報(5月)		
23:00	米・卸売在庫(3月)		
5月9日	土		
			中・資金調達総額(4月、15日までに)
			中・マネーサプライ(4月、15日までに)
			中・元建て新規貸出残高(4月、15日までに)
			露・対ナチス・ドイツ戦勝記念日

■(日)日本銀行金融政策決定会合**4月28日(火)決定会合の終了予定時刻は未定**

(予想は、政策金利の現状維持) 利上げによって原油価格の上昇を抑制することはできないが、日銀は実質金利では非常に緩和的な金融環境であることを認識している。将来的には利上げによって非常に緩和的な金融環境を変えていく方針は維持される見込み。

■(米)連邦公開市場委員会**4月29日(水)日本時間30日午前3時結果判明**

(予想は、政策金利の現状維持) 原油高の影響を総合的に判断して政策金利は当面据え置きとなる見込みだが、中東情勢が改善した場合、金利先高観は後退し、利下げ余地が生じる可能性は残されている。

■(欧)欧州中央銀行理事会**4月30日(木)午後9時15分発表予定**

(予想は、政策金利の現状維持) 原油高によるインフレ圧力の高まりが観測されているが、理事会は今後の中東情勢について慎重に判断する必要があるため、今回は主要政策金利の据え置きが決まる可能性が高い。

■(米)4月雇用統計**5月8日(金)午後9時30分発表予定**

(3月実績は、非農業部門雇用者数+17.8万人、失業率4.3%) 3月の非農業部門雇用者数は医療従事者のストライキ終了などの影響で予想以上に増加したが、4月については教育・医療や娯楽・接客業における雇用増が3月実績を下回る見込み。非農業部門雇用者数の増加幅は3月実績を下回る可能性が高い。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
4月27日	1718	美樹工業	スタンダード	15:30	4月28日	4045	東亜合成	プライム	14:00
	1944	きんでん	プライム	15:30		4063	信越化	プライム	15:30
	2211	不二家	プライム	15:30		4204	積水化	プライム	15:30
	2327	NSSOL	プライム	15:30		4345	シーティーエス	プライム	13:00
	2689	オルパヘルケア	スタンダード	15:00		4362	日精化	プライム	16:00
	2760	東エルデバ	プライム	15:30		4479	マクアケ	グロース	15:30
	3003	ヒューリック	プライム	11:00		4578	大塚HD	プライム	13:30
	3635	ユーエーケモ	プライム	16:00		4661	OLC	プライム	16:00
	3636	三菱総研	プライム	16:00		4685	菱友システム	スタンダード	17:00
	3778	さくら	プライム	12:00		4722	フューチャー	プライム	16:00
	4498	サイハトラスト	グロース	15:00		4812	電通総研	プライム	15:30
	4503	アステラス薬	プライム	15:00		4826	CIJ	プライム	14:00
	4568	第一三共	プライム	13:00		5279	日興業	スタンダード	16:00
	5410	合同鉄	プライム			5482	愛知鋼	プライム	14:00
	5612	鑄鉄管	スタンダード	16:00		5532	リアルゲイト	グロース	15:30
	5992	中発条	スタンダード	14:00		5819	カレ電気	スタンダード	16:00
	6382	トリエ	スタンダード	15:00		5834	SBIリンク	グロース	11:00
	6436	アマノ	プライム	15:00		5903	SHINPO	スタンダード	
	6470	大豊工業	スタンダード	14:00		6161	エステック	スタンダード	15:00
	6501	日立	プライム	15:30		6201	豊田織機	プライム	11:00
	6516	山洋電	プライム	11:00		6301	コマツ	プライム	14:00
	6754	アンリツ	プライム	15:30		6302	住友重	プライム	14:00
	6810	マクセル	プライム	15:00		6455	モリタHD	プライム	15:30
	6857	アドバンテ	プライム	15:30		6473	ジェイケイ	プライム	15:00
	6988	日東電	プライム	16:00		6503	三菱電	プライム	15:30
	7236	ティラド	プライム	16:00		6504	富士電機	プライム	15:30
	7241	フタバ	プライム	16:00		6526	ソノネクス	プライム	15:00
	7278	イクセティ	プライム	16:00		6586	マキタ	プライム	15:40
	7283	愛三エ	プライム	15:00		6592	マブチ	プライム	12:00
	7949	小松カオル	プライム	15:30		6617	東光高岳	プライム	16:00
	7970	信越ホリ	プライム	15:00		6701	NEC	プライム	15:30
	8190	ヤマカ	名証メイン			6762	TDK	プライム	15:30
	8285	三谷産	スタンダード	15:00		6823	リオン	プライム	14:30
8601	大和証G	プライム	11:30	6902	デンソー	プライム	11:00		
8628	松井証	プライム	11:30	6955	FDK	スタンダード	15:00		
9368	キムラユニティー	スタンダード	11:00	7148	FPG	プライム	16:00		
9474	ゼンリン	プライム	13:00	7259	アイシン	プライム	13:00		
9629	ピーシーエー	プライム	15:00	7282	豊田合	プライム	13:00		
9932	杉本商	プライム		7381	CCIG	プライム	13:00		
4月28日	1777	川崎設備	名証メイン		7510	たけびし	プライム		
	1850	南海辰村	スタンダード	14:00	7646	PLANT	スタンダード	13:00	
	1930	北電事	プライム	16:00	7919	野崎印	スタンダード	15:00	
	1934	ユアテック	プライム	12:00	7984	ココヨ	プライム	16:00	
	1941	中電工	プライム	15:00	8014	蝶理	プライム	14:00	
	1942	関電工	プライム	13:00	8071	東海エレ	名証メイン		
	1946	トエネック	プライム	15:00	8076	カークス	スタンダード	14:00	
	1959	クラフティア	プライム	15:00	8218	コメリ	プライム	15:30	
	2175	SMS	プライム	15:30	8609	岡三	プライム	11:00	
	2208	ブルボン	スタンダード		8613	丸三証	プライム	12:00	
	2212	山崎パン	プライム	15:30	8614	東洋証	プライム	16:00	
	2359	コア	プライム	15:00	8622	水戸証	プライム	13:00	
	2491	Vコマース	プライム	16:00	8624	いちよし	プライム	13:00	
	2664	カチ薬品	プライム	15:30	8697	JPX	プライム	12:00	
	3116	トヨタ紡織	プライム	14:00	8708	アイザワ証G	プライム	14:00	
	3426	アムビシ	スタンダード	15:30	8793	NECキャピ	プライム	15:30	
	3439	三ツ知	スタンダード	15:30	8914	エリック	スタンダード	12:00	
	3622	ネットヤー	スタンダード	15:00	9003	相鉄HD	プライム	16:00	
	3911	Aiming	グロース	15:30	9022	JR東海	プライム	15:00	
	3969	イトレッド	スタンダード	15:30	9023	東京外口	プライム	15:30	
	4043	トクヤマ	プライム	09:00	9040	大宝運輸	名証メイン		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
4月28日	9081	神奈交	プライム	15:30		5938	LIXIL	プライム	13:00
	9267	ケンキトラ	プライム	15:30		5959	岡 部	プライム	15:30
	9412	スカパ-JSA	プライム	14:00		6080	M&Aキャピ	プライム	15:30
	9502	中部電	プライム	16:00		6111	旭精機	名証メイン	
	9504	中国電	プライム	15:30		6135	牧野フ	プライム	15:30
	9505	北陸電	プライム	15:30		6185	SMN	スタンダード	15:30
	9509	北海電	プライム	15:30		6196	スライクG	プライム	15:30
	9531	東ガス	プライム	14:00		6268	ナブテスコ	プライム	16:00
	9536	西部ガスH	プライム	16:00		6325	タカキタ	スタンダード	13:00
	9539	葉ガス	スタンダード	15:00		6391	加地テック	スタンダード	
	9679	ホウライ	スタンダード	16:00		6454	マックス	プライム	15:30
4月30日	1381	アグニス	スタンダード	15:00	6623	愛知電	名証プレミア		
	1878	大東建	プライム	11:00	6770	アルプスアル	プライム	15:30	
	1939	四電工	プライム	16:00	6817	スダコーポ	プライム		
	1950	日本電設	プライム	14:00	6870	アソール	スタンダード	15:30	
	2114	フジ日本	スタンダード	15:00	6888	アクモス	スタンダード		
	2127	日本M&A	プライム	15:00	6920	レーザーテク	プライム	15:45	
	2216	カンロ	スタンダード	13:00	6932	遠藤照	スタンダード	16:00	
	2410	キャリDCC	プライム	16:00	6961	エンラス	プライム	15:30	
	2428	ウエルネット	スタンダード	16:00	6971	京セラ	プライム	15:30	
	2492	インオマート	プライム	15:30	6981	村田製	プライム	14:00	
	2579	ココーラBJH	プライム	15:00	7172	JIA	プライム	15:00	
	2692	伊藤忠食	プライム	13:00	7177	GMOFHD	スタンダード	15:31	
	2811	カゴメ	プライム	15:40	7475	アルビス	プライム		
	2892	日食品	スタンダード	12:00	7539	アイトホHD	スタンダード	13:00	
	2926	篠崎屋	スタンダード	15:30	7600	日本MDM	プライム	12:00	
	3092	ZOZO	プライム	15:30	7625	ダイニング	スタンダード	15:30	
	3137	ファンテリ	スタンダード	15:30	7741	HOYA	プライム	13:00	
	3482	ロートスター	プライム	15:30	7896	セブンE	スタンダード		
	3496	アズーム	プライム	15:30	7942	JSP	プライム	15:00	
	368A	北里コーポ	プライム		7947	エビコ	プライム	15:00	
	3696	セレス	プライム	12:00	7976	菱鉛筆	プライム	15:30	
	3776	プロバンテ	スタンダード	12:00	7981	効ラス外	プライム	12:00	
	3836	アバントG	プライム	15:30	8015	豊通商	プライム	15:00	
	3839	ODK	スタンダード	15:40	8035	東エフ	プライム	16:00	
	4220	リケンテカス	プライム	14:00	8056	BIPROGY	プライム	15:00	
	4221	大倉工	プライム	12:00	8103	明和産	プライム	13:00	
	4248	竹本容器	スタンダード	15:00	8133	エネクス	プライム	13:00	
	4308	Jストリーム	グロース	15:00	8174	日ガス	プライム	15:30	
	4318	クイック	プライム	15:30	8616	東海東京	プライム	11:00	
	4373	シンプレクスH	プライム	15:30	8699	HSHD	スタンダード	16:00	
	4410	ハルマ化成G	プライム	13:00	8700	丸八証券	スタンダード	15:30	
	4417	グローセキユ	グロース	16:00	8704	トレイダーズ	スタンダード	15:30	
	4463	日華化学	スタンダード	15:00	8803	平和不	プライム	15:00	
	4626	太陽HD	プライム	12:00	8898	センチュリー21	スタンダード	16:00	
	4679	田 谷	スタンダード	10:00	9001	東 武	プライム	15:30	
	4709	IDHD	プライム	11:00	9020	JR東日本	プライム	15:00	
	4762	エクスネット	スタンダード	16:00	9021	JR西日本	プライム	15:30	
	4768	大塚商	プライム	15:00	9044	NANKAI	プライム	14:00	
	5208	有沢製	プライム	16:00	9064	ヤマトHD	プライム	17:00	
	5214	日電硝	プライム	15:30	9104	商船三井	プライム	12:00	
5257	ハバシステム	スタンダード	13:00	9110	ユニテド海	プライム	14:00		
5280	ヨシコ	スタンダード		9158	シーユーシー	グロース	15:30		
5332	TOTO	プライム	15:30	9201	JAL	プライム	12:00		
5333	NGK	プライム	13:00	9202	ANA	プライム	15:30		
5334	特殊陶	プライム	15:40	9206	SFJ	スタンダード	15:30		
5440	共英製鋼	プライム	13:00	9219	ギックス	グロース	15:30		
5444	大和工	プライム	13:00	9301	三菱倉	プライム	15:30		
5659	日精線	プライム		9362	兵機海	スタンダード	13:00		
5905	日カン	スタンダード	16:30	9503	関西電	プライム	16:00		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
4月30日	9506	東北電	プライム	15:00		2802	味の素	プライム	15:30
	9507	四国電	プライム	14:00		2924	イソ産業	スタンダード	15:00
	9508	九州電	プライム	15:30		3064	MonotaRO	プライム	15:30
	9511	沖縄電	プライム	13:00		3326	ラנסテム	スタンダード	16:00
	9533	邦ガス	プライム	11:00		3668	コロプラ	プライム	
	9534	北ガス	プライム	14:00		3984	ユーザローカル	プライム	
	9687	KSK	スタンダード	15:00		4012	アクシス	スタンダード	12:00
	9715	トランスコスモ	プライム	15:30		4151	協和キリン	プライム	15:30
	9733	ナガセ	スタンダード	15:30		4262	コフレイフ	グロース	08:00
	9914	植松商	スタンダード	15:00		4326	イテジHD	プライム	13:30
	9962	ミスミG	プライム	15:00		4475	HENNGE	グロース	15:30
5月1日	2148	ITM	プライム	17:00	4582	シバイ	グロース		
	2296	伊藤米久	プライム	12:00	4746	東計電算	スタンダード	15:30	
	2413	エムシー	プライム	15:30	5187	グエート	スタンダード	15:30	
	2480	シスロケ	スタンダード	15:30	5261	リソル	プライム	14:00	
	2551	マルサンアイ	名証メイン		5445	東京鉄	プライム	13:00	
	2768	双日	プライム	12:00	5955	ワイズHD	スタンダード		
	299A	クラシル	グロース	15:30	6200	イソス	プライム	17:00	
	3191	ジョイ本田	プライム	15:00	6230	SANEI	スタンダード	12:00	
	4107	伊勢化	スタンダード	15:30	6395	タダノ	プライム	15:00	
	4206	アイカエ	プライム	17:00	6809	TOA	プライム	15:00	
	4565	ネクセラファーマ	プライム	15:30	6841	横河電	プライム	15:30	
	4772	SM ENTER	グロース		6853	共和電	スタンダード	15:30	
	5367	ニッパト	スタンダード	15:00	7120	SHINKO	スタンダード	14:00	
	5386	鶴 弥	名証メイン		7419	ノジマ	プライム	08:00	
	5832	ちゅうぎ	プライム	14:00	7480	スズデン	スタンダード		
	5857	AREHD	プライム	15:30	7575	日本ライフル	プライム	15:40	
	5906	MK精工	スタンダード	15:00	7609	ダイロン	プライム	15:00	
	5933	アルコ	プライム	15:30	7711	助川電	スタンダード	15:00	
	6099	エラン	プライム	15:30	7972	イトーキ	プライム	15:30	
	6141	DMG森精	プライム	15:00	8005	スクロール	プライム	15:00	
	6420	ガリレイ	プライム	16:00	8012	長瀬産	プライム	15:00	
	6467	ニチダイ	スタンダード	15:00	8255	アグナル	プライム		
	6632	JVCKW	プライム	15:45	8739	スパークス G	プライム	16:00	
	6724	エプソン	プライム	15:30	9325	フェイスHD	スタンダード	15:30	
	7446	東北化学	スタンダード	15:00	9424	日本通信	プライム		
	7740	タムロン	プライム	15:30	9701	東会館	スタンダード		
	7774	J・TEC	グロース	10:00	9742	アイネス	プライム	15:00	
	8001	伊藤忠	プライム	13:00	9768	いであ	スタンダード	16:00	
	8002	丸 紅	プライム	11:00	9878	セキド	スタンダード		
	8031	三井物	プライム	12:00	9955	ヨシキウ	スタンダード	15:30	
	8053	住友商	プライム	13:00	5月8日	1382	ホープ	スタンダード	15:30
	8058	三菱商	プライム	14:00		1429	日本アア	プライム	15:30
	8165	千趣会	スタンダード			1450	TANAKEN	スタンダード	15:00
	8303	SBI新生	プライム			151A	ダイブ	グロース	15:30
	8473	SBI	プライム			1720	東急建設	プライム	
	8860	フジ住	プライム	14:00		1738	NITTOH	名証メイン	
	9619	伊和HD	プライム	15:30		1768	ソネック	スタンダード	15:00
	9682	DTS	プライム	15:00		1893	五洋建	プライム	15:00
	9799	旭情報	スタンダード	16:00		1897	金下建	スタンダード	11:00
	9950	ハチパン	スタンダード	16:00		1899	福田組	プライム	15:00
	5月7日	1723	日本電技	スタンダード			2060	フィード・ワン	プライム
		1898	世紀東	プライム	17:00	2112	塩水糖	スタンダード	
		1911	住友林	プライム	15:00	2139	中 広	スタンダード	16:00
		1967	ヤマト	スタンダード	15:00	2193	COOK	スタンダード	12:00
		2003	日東富士	スタンダード		2206	グリコ	プライム	15:30
		2053	中部飼	プライム	14:00	2266	六甲パタ	プライム	15:30
2326		テジーツ	プライム	16:00	2281	プリマム	プライム	15:30	
2335		キューブス	プライム	16:00	2282	日本ハム	プライム	15:40	
2489		アドケイズ	スタンダード	14:00	2371	カカコム	プライム		

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
5月8日	2378	ルネサンス	プライム	15:00		4642	オジナル設	スタンダード	15:00
	2461	ファンズ	プライム			4667	アイソテック	スタンダード	
	2666	オートウェブ	スタンダード	14:00		4674	クレスコ	プライム	16:00
	2681	ゲオHD	プライム	15:30		4678	秀英	スタンダード	15:00
	2693	YKT	スタンダード	15:30		4689	LINEヤフー	プライム	15:30
	2700	木徳神糧	スタンダード	15:00		4769	I C	スタンダード	15:40
	2705	大戸屋HD	スタンダード	15:00		4792	山田コンサル	プライム	12:00
	2782	セリア	スタンダード	15:00		4800	オリコン	スタンダード	15:00
	2790	ナフコ	スタンダード	15:00		4958	長谷川香	プライム	16:00
	2883	大冷	スタンダード	14:00		4967	小林製菓	プライム	15:00
	2914	J T	プライム	15:30		4970	東洋合成	スタンダード	
	303A	visumo	グロース	16:00		5015	BPカストロール	スタンダード	
	3097	物語ロボ	プライム	15:30		5186	ニッタ	プライム	15:00
	3166	OCHI-HD	スタンダード	15:30		5262	日ヒューム	プライム	14:00
	3167	TOKAI HD	プライム	15:00		5284	ヤマウHD	スタンダード	16:00
	3190	ホットマン	スタンダード	11:00		5302	日カーボン	プライム	15:30
	3202	ダイワボウ	スタンダード	14:00		5344	MARUWA	プライム	
	3221	ヨシックスHD	プライム	15:00		5380	新東	スタンダード	15:00
	3238	セントラル総	スタンダード	15:00		5388	クミネ工	スタンダード	15:00
	3252	地主	プライム	15:30		5391	A&AM	スタンダード	15:00
	3261	グランディー	グロース	11:00		5408	中山鋼	プライム	13:00
	3271	グローバル社	スタンダード	15:30		5411	JFE	プライム	14:00
	3286	トラスHD	スタンダード	15:00		5464	モリ工業	スタンダード	13:00
	3302	帝繊維	プライム	15:00		5480	冶金工	プライム	15:30
	3352	ハッファロー	スタンダード	15:30		5727	邦チケウム	プライム	13:00
	3386	コスモハイオ	スタンダード	15:00		5742	NIC	スタンダード	
	3553	共和レザ	スタンダード	15:00		5816	オーナバ	スタンダード	15:00
	3563	F&LC	プライム			5830	いよぎん	プライム	13:00
	3626	TIS	プライム	15:30		5941	中西製作	スタンダード	12:00
	3660	アイスタイル	プライム	15:30		5950	パワーファス	スタンダード	15:30
	3663	セルシス	プライム	13:00		5979	カネソウ	名証メイン	
	3690	イルガム	スタンダード	15:30		6023	ダイハツイン	スタンダード	13:00
	3712	情報企画	スタンダード			6050	E G	プライム	15:00
	3762	テクマトックス	プライム	15:00		6062	チャームケア	プライム	
	3765	ガンホー	プライム	15:30		6088	シグマケイ	プライム	16:00
	3766	システムSD	スタンダード	13:00		6147	ヤマザキ	スタンダード	
	3850	NTTDIM	スタンダード	15:30		6155	高松機械	スタンダード	15:30
	3908	コロボス	スタンダード	15:30		6156	エーワン精密	スタンダード	15:30
	3910	エムケイシステム	スタンダード	15:30		6158	和井田	スタンダード	16:00
	3917	アイリッジ	グロース	15:00		6222	島精機	プライム	15:30
	3926	オーブントア	スタンダード	15:30		6223	西部技研	スタンダード	15:00
	3934	ベネフィットJ	スタンダード	15:00		6326	クボタ	プライム	14:00
	3946	トーモク	プライム	15:00		6327	北川精機	スタンダード	15:35
	3997	トレードワクス	スタンダード	15:00		6340	渋谷工	プライム	14:00
	4025	多木化	プライム	13:00		6413	理想科	プライム	16:00
	4120	スガイ化	スタンダード	15:30		6448	ブラザー	プライム	15:30
	4263	サスメド	グロース	15:30		6557	AIAI	グロース	15:00
	4284	ソルクシーズ	スタンダード			6565	ABホテル	名証メイン	16:00
	4286	CLHD	スタンダード	15:00		6629	テクHR	スタンダード	16:00
	4320	CEHD	スタンダード	15:30		6643	戸上電	スタンダード	15:00
	4335	IPSHD	スタンダード			6662	エビテック	スタンダード	16:00
	4350	メディカルシス	スタンダード	15:00		6745	ホーチキ	プライム	15:30
	4390	ips	プライム	15:30		6775	TBグループ	スタンダード	16:00
	4483	JMDC	プライム	15:30		6804	ホシデン	プライム	16:00
	4528	小野薬	プライム	12:00		6832	アイ電子	スタンダード	13:00
	4556	カインス	スタンダード	13:00		6874	協立電機	スタンダード	14:00
	4559	セリア新薬	プライム	16:00		6877	OBARA-G	スタンダード	17:00
	4563	アンジェス	グロース	16:00		6882	三社電機	スタンダード	15:30
	4572	カルナハイオ	グロース			6901	沢藤電	スタンダード	16:00
	4588	オンコリス	グロース	15:00		6908	イリ電子	プライム	16:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
5月8日	6929	日セテ	プライム	15:10		9009	京成	プライム	15:30
	6976	太陽誘電	プライム	15:30		9029	ヒガシHD	スタンダード	15:30
	6996	ニチコン	プライム	15:00		9063	岡山運	スタンダード	15:00
	7013	IHI	プライム	13:00		9072	ニッコHD	プライム	14:00
	7040	サンライフHD	スタンダード	15:00		9107	川崎船	プライム	15:30
	7089	フォースタ	グロース	15:00		9119	飯野海	プライム	14:00
	7130	ヤマエGHD	プライム	14:00		9143	SGHD	プライム	15:30
	7134	アップカレ	スタンダード			9324	安田倉庫	プライム	15:00
	7164	全国保証	プライム	15:30		9339	ユー・エイ	スタンダード	16:00
	7173	きらぼし	プライム	15:30		9359	伊勢海	名証メイン	
	7203	トヨタ	プライム			9361	伏木運	スタンダード	15:00
	7211	三菱自	プライム	17:00		9376	ユーシア	スタンダード	16:00
	7224	新明和	プライム	16:00		9413	テレ東HD	プライム	16:00
	7291	日プラスト	スタンダード	15:00		9421	エヌジェイHD	スタンダード	16:00
	7399	ナンシン	スタンダード	16:00		9432	NTT	プライム	13:00
	7412	アトム	スタンダード	15:00		9436	沖縄セルラー	スタンダード	15:30
	7421	カッパ・カエ	プライム	15:00		9478	SE H&I	スタンダード	15:30
	7442	中山福	スタンダード	16:00		9532	大ガス	プライム	15:00
	7464	セテック	スタンダード	15:10		9698	クレオ	スタンダード	15:30
	7466	SPK	プライム	15:00		9702	アイスピー	プライム	15:30
	7472	鳥羽洋行	スタンダード	15:30		9706	空港ビル	プライム	16:00
	7504	高速	プライム	15:00		9753	IXナレッジ	スタンダード	
	7509	アイーG	スタンダード	15:45		9759	NSD	プライム	15:30
	7616	コロイト	プライム	15:00		9766	コナミG	プライム	15:00
	7723	愛時計	プライム	14:00		9790	福井コピ	プライム	13:00
	7731	ニコン	プライム	15:00		9831	ヤマダHD	プライム	15:30
	7791	トリームベ	スタンダード	15:00		9849	共同紙	スタンダード	15:30
	7792	コソット	グロース	15:00		9867	ソレキア	スタンダード	15:00
	7841	遠藤製作	スタンダード	15:00		9882	イロハット	プライム	
	7917	ZACROS	プライム	16:00		9902	日伝	プライム	13:00
	7950	日テコ	名証メイン						
	7963	興研	スタンダード						
	7966	リテック	プライム	13:00					
	7971	東リ	スタンダード	14:00					
	7974	任天堂	プライム	15:30					
	7980	重松製	スタンダード	16:00					
	7987	ナカハヤシ	スタンダード	15:00					
	7989	ブライド	プライム	14:00					
	7994	オカムラ	プライム	15:00					
	8020	兼松	プライム	14:00					
	8052	椿本興	プライム	16:00					
	8065	佐藤商	プライム	13:00					
	8074	YUASA	プライム	15:00					
	8084	RYODEN	プライム	13:00					
	8113	ユニチャーム	プライム	16:00					
	8131	ミツロコGHD	スタンダード	16:00					
	8137	サンテクノス	プライム	16:00					
8158	ソーダニカ	プライム	14:00						
8173	Joshin	プライム	12:00						
8202	ラオックスHD	スタンダード	16:00						
8282	ケースHD	プライム							
8367	南都銀	プライム	14:00						
8410	セブン銀行	プライム	15:30						
8418	山口FG	プライム	15:30						
8566	リコーリス	プライム	14:00						
8596	九州リス	スタンダード	14:00						
8747	豊トラスティ	スタンダード	15:00						
8864	空港施設	スタンダード	15:00						
8919	カチタス	プライム	15:00						
8996	ハウスワグム	スタンダード	16:00						

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
4月20日	岡三	7956	ピジョン	強気新規	1970
4月21日	UBS	7730	マニー	NEUTRAL→BUY格上げ	1630→2170
	モルガン	6674	GSユアサ	OVERWEIGHT新規	8250
4月24日	東海東京	7701	島津製	OUTPERFORM新規	5100
	野村	547A	ムニノバHD	BUY新規	570

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
4月22日	シティ	6005	三浦工	1→2格下げ	4000→3500
	東海東京	7373	アイドマHD	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	5400→1200
4月23日	JPモルガン	5019	出光興産	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	1850→1450
		5021	コスモエネHD	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	5650→4400
	UBS	2503	麒麟HD	BUY→NEUTRAL格下げ	3100→2700

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	4/24終値 (円)
バトンズ	554A	グロース	4/21	630~660	310,000	451,800	660	1,674	大和	2,602
事業内容:	M&A総合プラットフォーム「BATONZ」の企画・開発・運用									
SQUEEZE	558A	グロース	4/22	2,910~3,110	50,000	1,101,000	3,110	3,250	SBI	3,245
事業内容:	自社ホテル運営、システム開発・提供、宿泊施設の企画・開発、DX全般のコンサルティング等									
犬猫生活	556A	グロース	4/23	2,790~2,990	330,000	371,500	2,990	3,500	SBI	4,900
事業内容:	ペットフードをはじめとしたペット関連商品の企画・製造・販売									
梅乃宿酒造	559A	スタンダード	4/24	570~600	0	2,168,400	600	900	SMBC日興	1,050
事業内容:	日本酒及び「梅乃宿の梅酒」や「あらかしシリーズ」等の果実をつけ込んだ日本酒リキュールを中心とした酒類の製造及び国内外での販売									

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
2371	カカクコム	2750	2652.5	2500.5	3763	プロシップ	1520	1494.25	1264
6332	月島HD	3055	2852.25	2435.5	7220	武蔵精密	4800	3294.5	3074
7419	ノジマ	1256	1173	1013	7600	MDM	582	516.25	564.5
7818	トランザク	1174	1169.5	1153.5	9045	京阪HD	3285	3282	3206.5
9984	ソフトバンクG	5963	4817.25	4177.5					

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1379	ホクト	1834	1876.75	1838	1898	世紀東急	1453	1515.5	1457
2130	メンバーズ	1089	1224	1104.5	2154	オープンUP	1727	1788.75	1765
2170	LINK & M	525	539.75	526.5	2209	井村屋G	2324	2542.75	2417
2327	NSSOL	3680	3742.25	3833.5	2353	日駐	248	276	251
2395	新日科学	1437	1557	1519.5	2432	ディーエヌエー	2571	2735.75	2897
2590	DyDo	2555	2597.75	3000	2613	Jオイル	1960	2035.5	2024.5
2897	日清食HD	2871	2886	3431	3034	クオールHD	1774	2021.5	1858.5
3093	トレファク	1671	1867.5	1691	3139	ラクトJPN	3300	3826.25	3448
3193	エターナルG	2959	3090	2997.5	3382	7&iHD	1913	2044	2264.5
3659	ネクソン	2655	3050.25	2658	3769	GMOPG	7969	8610.5	8162
3817	SRAHD	4485	4827.5	4555	4151	協和キリン	2352	2417.25	2365.5
4204	積水化	2419	2757.5	2548	4206	アイカエ	3493	3703.25	3528
4323	日シス技術	1913	2211.75	1994	4324	電通グループ	3004	3113.5	3781
4527	ロート薬	2382	2386.75	2716	4540	ツムラ	3703	3745.75	4211
4552	JCRファーマ	573	608.75	575.5	4674	クレスコ	1382	1570.75	1416
4719	アルファ	3315	3672.5	3410	4820	EMシステムズ	670	783.75	683
4901	富士フイルム	2896	3497.75	3151.5	4902	コニカミノルタ	494	512.5	542
5411	JFE	1686	1818.5	1785.5	5445	東京鉄	1830	1925	1875
5947	リンナイ	3513	3602	3515.5	6310	井関農	1633	1995.25	1659.5
6340	渋谷工	3360	3404.25	3397.5	6358	酒井重	2035	2072.75	2153
6418	日金銭	971	984.5	1012	6632	JVCKW	1180	1198.75	1366.5
7201	日産自	353	353.75	426.5	7269	スズキ	1777	2062.5	1897.5
7272	ヤマハ発	1091	1112.75	1199.5	7388	FPパートナー	2150	2276.75	2528
7421	カッパクリエ	1503	1580.5	1506.5	7438	コンドーテック	1458	1624.25	1476.5
7458	第一興商	1638	1646	1732	7508	GセブンHD	1283	1294	1375.5
7532	パンパシHD	918	1007.25	929	7552	ハピネット	2685	3205	2762.5
7575	日本ライフL	1375	1492.25	1400	7593	VTHD	480	488.5	484.5
7607	進和	2995	3213.5	2999.5	7649	スギHD	3175	3550.5	3223.5
7701	島津製	3594	3840.75	3985.5	7734	理計器	3280	3326.5	3285
7751	キヤノン	4024	4404.75	4583.5	7752	リコー	1297	1396	1548
7769	リズム	3415	3458.75	3717.5	7921	TAKARA & C	3440	3933.75	3466
8163	SRSHD	1169	1219.25	1174	8200	リンガーハット	2202	2283.5	2229
8276	平和堂	2631	2855.5	2645	8595	ジャフコG	2225	2513.75	2281
8897	ミラースHD	401	416.25	448	9005	東急	1692	1813.75	1843
9010	富士急	2264	2362	2306	9025	鴻池運輸	2833	3181.5	2896
9202	ANA	2697	2880.75	2776	9046	神戸電鉄	2384	2453.5	2416.5
9413	テレ東HD	3950	4477.5	3977	9267	GenkyDrugS	3870	4687.5	3957.5
9470	学研HD	971	1025.25	989	9449	GMO	3153	3687.5	3273.5
9682	DTS	1050	1277.5	1106.5	9501	東京電力HD	585	662	595.5
					9766	コナミG	19900	23135	20025

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認ください重要な事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	TEL:082-245-5000	三次支店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	TEL:0824-62-3121
福山支店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	TEL:084-922-1321	可部支店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	TEL:082-815-2600
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	TEL:086-222-1561	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	TEL:082-277-2700
府中支店	〒726-0004 府中市府川町335-1	TEL:0847-45-8500	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	TEL:082-422-3621
尾道支店	〒722-0036 尾道市東御所町1-15	TEL:0848-23-8121	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	TEL:0829-31-6611
尾道支店 今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	TEL:0898-55-8280	岩国支店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	TEL:0827-22-3161
尾道支店 因島営業所	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	TEL:0845-22-2291	徳山支店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	TEL:0834-31-5350
三原支店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	TEL:0848-67-6681	徳山支店 萩営業所	〒758-0027 萩市吉田町51-11	TEL:0838-25-2121
呉支店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	TEL:0823-21-6401	宇部支店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル	TEL:0836-31-1105

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>